

農業者アンケート調査

八千代市農業振興計画に係る農業者アンケート調査概要

(1) 調査目的

八千代市農業振興計画の策定にあたり、現状の把握や施策の立案等の参考とするため、八千代市の農業者の意見を収集するアンケート調査を実施した。

(2) 調査期間

2019年12月6日～2020年1月10日が回答期間となるように郵送により配布・回収

(3) 対象者

〈八千代市農業者〉

農地・農家台帳から抽出した、八千代市の住民かつ経営主で年間の農業従事日数が60日以上である1,061名

(4) 回収率

配布数	返送数	有効回答数
1,061 通	7 通	320 通 (30.4%)

(5) 回答の見方

- ・ 回答率(%)は、単純集計は小数点第2位を四捨五入し少数点第1位まで、クロス集計は小数点第1位を四捨五入して表示している。このため合計値は100%とはならない場合がある。
- ・ 回答には、単数回答と複数回答がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。
- ・ 傾向を掴みやすくするため、地区を「農村ゾーン」「混在ゾーン」「市街地ゾーン」に分けて分析している箇所がある。ゾーンごとの集落の振り分けは以下のとおり

農村ゾーン			混在ゾーン	市街地ゾーン	
小池	保品南	尾崎	高本	大和田新田上	大和田
神久保	保品須賀	麦丸	寺台	大和田新田下	辺田前
真木野	島田台	下宿	花輪	高津(西)	下市場
佐山	島田	内宿	萱田下	高津(南)	下町
平戸	逆水	上宿	宮内	高津新田	台町
神野	桑橋	下高野	中郷	萱田上	上高野原
保品郷	桑納	上高野		萱田町	勝田

※ 農業者アンケートの耕作地域別クロス分析で用いている農村ゾーン、混在ゾーン、市街地ゾーンの

区分は、市民アンケートで用いている居住地の区分と異なる箇所がある。

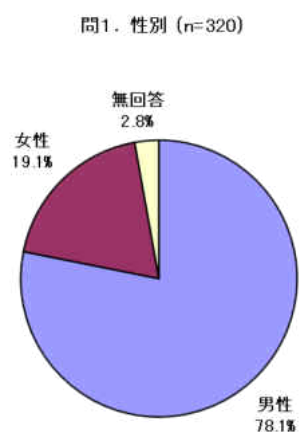
農業者アンケート調査結果

I 回答者の属性について

問1. 性別

回答者の性別は、「男性」が78.1%、「女性」が19.1%となった。

	回答数	比率
男性	250	78.1%
女性	61	19.1%
無回答	9	2.8%
合計	320	100.0%



問2. 年齢

回答者の年齢は、「60代」が34.4%と最も多く、次いで「70代」が33.4%、「80歳以上」が15.9%と多くみられた。

	回答数	比率
～20代	0	0.0%
30代	1	0.3%
40代	6	1.9%
50代	39	12.2%
60代	110	34.4%
70代	107	33.4%
80歳以上	51	15.9%
無回答	6	1.9%
合計	320	100.0%

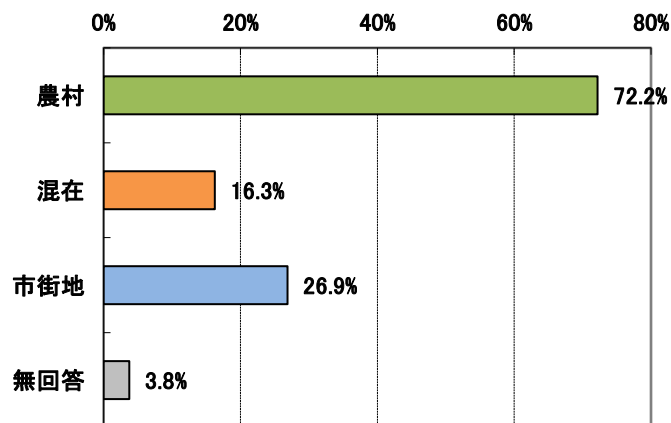


問3. 耕作地域※（複数回答）

「農村ゾーン」が 72.2%と最も多く、「市街地ゾーン」は 26.9%、「混在ゾーン」は 16.3%となった。詳細地区では、「麦丸」が 8.4%と最も多く、次いで「桑納」が 5.6%、「島田台」が 5.3%と多くみられた。

	回答数	比率
農村	231	72.2%
混在	52	16.3%
市街地	86	26.9%
無回答	12	3.8%
合計	381	-
n	320	

問3. 耕作している場所（ゾーン）（n= 320）

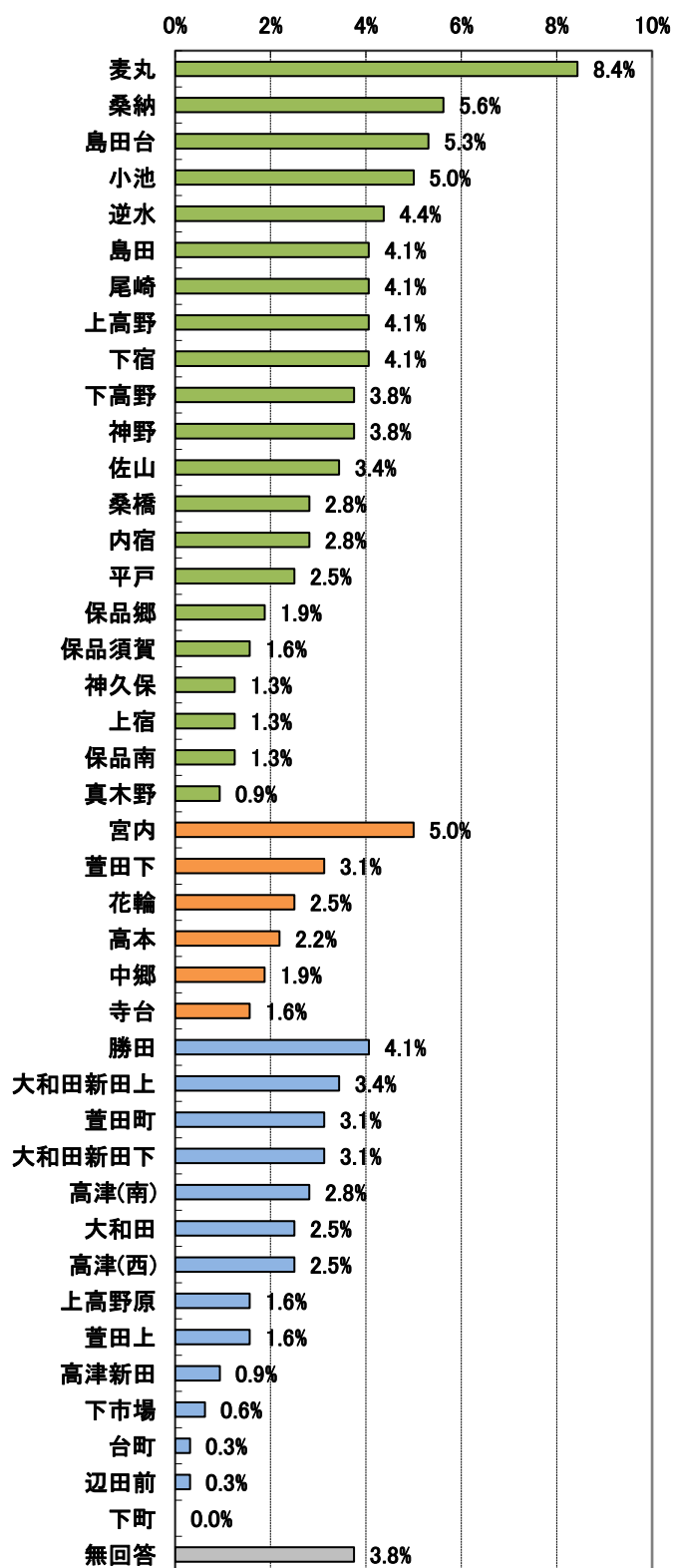


詳細地区 緑色：農村ゾーン、オレンジ色：混在ゾーン、青色：市街地ゾーン

	回答数	比率
麦丸	27	8.4%
桑納	18	5.6%
島田台	17	5.3%
小池	16	5.0%
逆水	14	4.4%
島田	13	4.1%
尾崎	13	4.1%
上高野	13	4.1%
下宿	13	4.1%
下高野	12	3.8%
神野	12	3.8%
佐山	11	3.4%
桑橋	9	2.8%
内宿	9	2.8%
平戸	8	2.5%
保品郷	6	1.9%
保品須賀	5	1.6%
神久保	4	1.3%
上宿	4	1.3%
保品南	4	1.3%
真木野	3	0.9%
宮内	16	5.0%
萱田下	10	3.1%
花輪	8	2.5%
高本	7	2.2%
中郷	6	1.9%
寺台	5	1.6%
勝田	13	4.1%
大和田新田上	11	3.4%
萱田町	10	3.1%
大和田新田下	10	3.1%
高津(南)	9	2.8%
大和田	8	2.5%
高津(西)	8	2.5%
上高野原	5	1.6%
萱田上	5	1.6%
高津新田	3	0.9%
下市場	2	0.6%
台町	1	0.3%
辺田前	1	0.3%
下町	0	0.0%
無回答	12	3.8%
合計	381	-
n	320	

詳細地区グラフ 緑色：農村ゾーン、オレンジ色：混在ゾーン、青色：市街地ゾーン

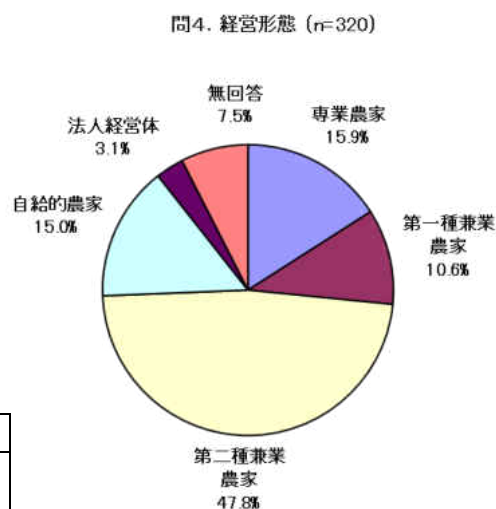
問3. 耕作している場所 (n= 320)



問4. 経営形態

「第二種兼業農家」が 47.8%と最も多く、次いで「専業農家」が 15.9%、「自給的農家」が 15.0%と多くみられた。

	回答数	比率
第二種兼業農家	153	47.8%
専業農家	51	15.9%
自給的農家	48	15.0%
第一種兼業農家	34	10.6%
法人経営体	10	3.1%
無回答	24	7.5%
合計	320	100.0%



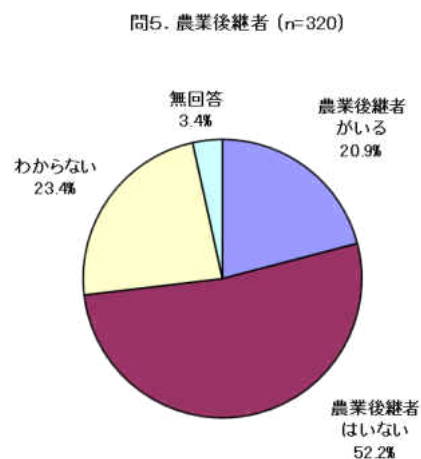
◆定義

専業農家	農業所得のみの農家
第一種兼業農家	農業以外に所得があり、農業所得が主である農家
第二種兼業農家	農業以外に所得があり、農業以外の所得が主である農家
自給的農家	耕地が 30a 未満で販売額が年間 50 万円未満の農家
法人経営体	株式会社等農業経営を法人化している事業者

問5. 後継者の有無

「農業後継者はいない」が 52.2%と最も多く、「わからない」が 23.4%、「農業後継者がいる」が 20.9%となった。

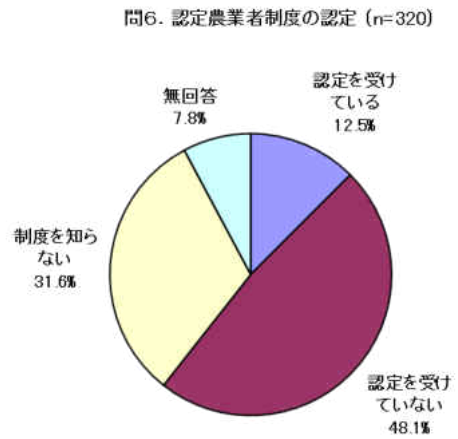
	回答数	比率
農業後継者はいない	167	52.2%
わからない	75	23.4%
農業後継者がいる	67	20.9%
無回答	11	3.4%
合計	320	100.0%



問6. 認定の有無

「認定を受けていない」が 48.1%と最も多く、「制度を知らない」が 31.6%、「認定を受けている」が 12.5%となった。

	回答数	比率
認定を受けていない	154	48.1%
制度を知らない	101	31.6%
認定を受けている	40	12.5%
無回答	25	7.8%
合計	320	100.0%



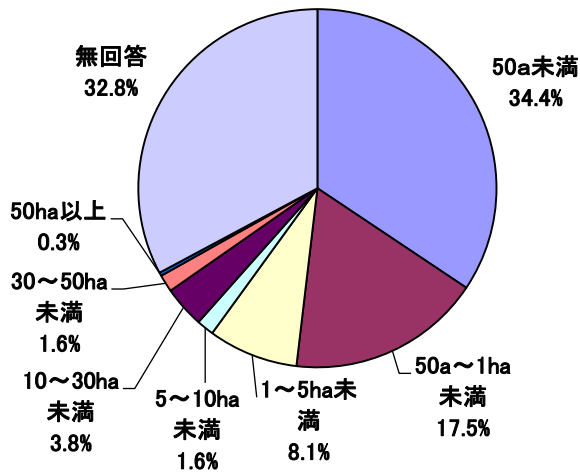
II 現在の経営状況について

問7. 水田の面積

「50a未満」が34.4%と最も多く、次いで「50a～1ha未満」が17.5%、「1～5ha未満」が8.1%と多くみられた。

	回答数	比率
50a未満	110	34.4%
50a～1ha未満	56	17.5%
1～5ha未満	26	8.1%
5～10ha未満	5	1.6%
10～30ha未満	12	3.8%
30～50ha未満	5	1.6%
50ha以上	1	0.3%
無回答	105	32.8%
合計	320	100.0%
n	320	

問7. 耕作している水田の面積 (n= 320)

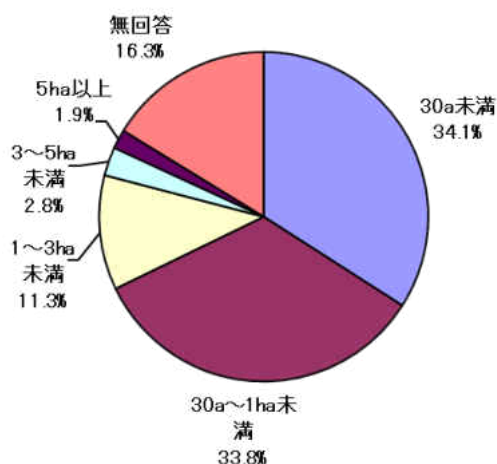


問8. 畑・樹園地の面積

「30a未満」が34.1%と最も多く、「30a～1ha未満」が33.8%、「1～3ha未満」が11.3%と多くみられた。

	回答数	比率
30a未満	109	34.1%
30a～1ha未満	108	33.8%
1～3ha未満	36	11.3%
3～5ha未満	9	2.8%
5ha以上	6	1.9%
無回答	52	16.3%
合計	320	100.0%

問8. 耕作している畑・樹園地の面積 (n=320)



問9. 栽培品目 (複数回答)

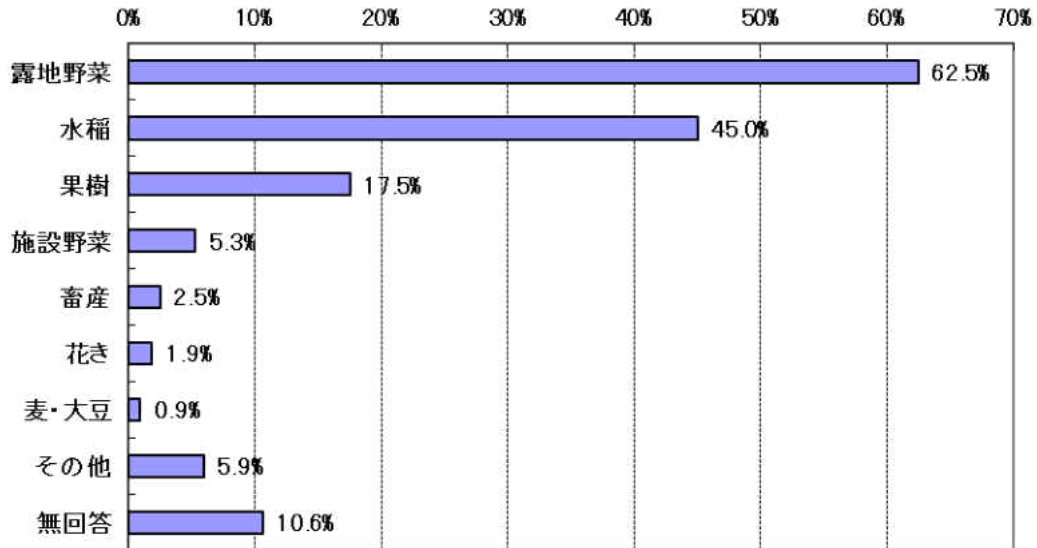
「露地野菜」が62.5%と最も多く、次いで「水稻」が45.0%、「果樹」が17.5%と多くみられた。

	回答数	比率
露地野菜	200	62.5%
水稻	144	45.0%
果樹	56	17.5%
施設野菜	17	5.3%
畜産	8	2.5%
花き	6	1.9%
麦・大豆	3	0.9%
その他	19	5.9%
無回答	34	10.6%
合計	487	-
n	320	

その他

梨 …4件
落花生 …2件
黒豆
自家消費野菜
自給露地野菜
自分で食べるだけの野菜
そば
田は貸しています。年をとって仕事は出来ません
栗
不耕作
保安全管理のみ
いろいろ
駐車場
無回答 …2件

問9. 栽培している品目について (n= 320)



問10. 最も販売額の大きい品目

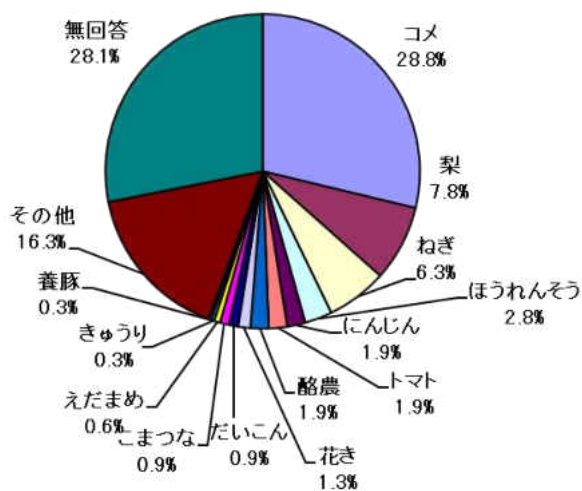
「コメ」が28.8%と最も多く、次いで「梨」が7.8%、「ねぎ」が6.3%と多くみられた。

	回答数	比率
コメ	92	28.8%
梨	25	7.8%
ねぎ	20	6.3%
ほうれんそう	9	2.8%
にんじん	6	1.9%
トマト	6	1.9%
酪農	6	1.9%
花き	4	1.3%
だいこん	3	0.9%
こまつな	3	0.9%
えだまめ	2	0.6%
きゅうり	1	0.3%
養豚	1	0.3%
その他	52	16.3%
無回答	90	28.1%
合計	320	100.0%

その他

販売無し …18件
栗 …7件
自給 …6件
落花生 …3件
いも類 …2件
キウイフルーツ …2件
さつまいも …2件
じゃがいも …2件
オクラ
さといも
そば
とうもろこし
みかん
ミニトマト
レモン
露地野菜
梅干など
いろいろ

問10. あなたの世帯で、最も販売額の大きい具体的な品目について
(n=320)



問 1 1. 主な販売先（複数回答）

「販売していない（自家消費）」が 24.4%と最も多く、次いで「農協（共同出荷）」と「直売所・道の駅で消費者に販売」が 19.7%と多くみられた。

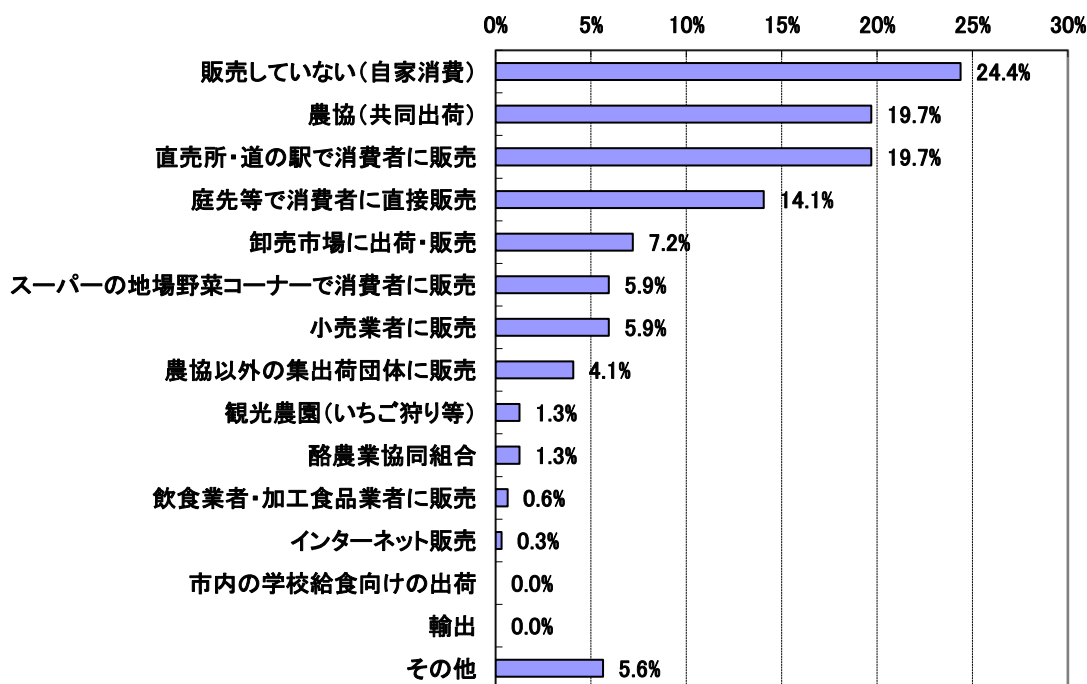
最も販売額の大きい品目別クロス集計では、「コメ」や「にんじん」など一部の野菜で「農協（共同出荷）」の割合が高く、「梨」と「えだまめ」で「直売所・道の駅で消費者に販売」の割合が高い。また、「スーパーの地場野菜コーナーで消費者に販売」は「トマト」で高い割合がみられた。

	回答数	比率
販売していない(自家消費)	78	24.4%
農協(共同出荷)	63	19.7%
直売所・道の駅で消費者に販売	63	19.7%
庭先等で消費者に直接販売	45	14.1%
卸売市場に出荷・販売	23	7.2%
スーパーの地場野菜コーナーで消費者に販売	19	5.9%
小売業者に販売	19	5.9%
農協以外の集出荷団体に販売	13	4.1%
観光農園(いちご狩り等)	4	1.3%
酪農業協同組合	4	1.3%
飲食業者・加工食品業者に販売	2	0.6%
インターネット販売	1	0.3%
市内の学校給食向けの出荷	0	0.0%
輸出	0	0.0%
その他	18	5.6%
無回答	49	15.3%
合計	401	-
n	320	

その他

なし …4件
知人等 …4件
グリーンハウス …3件
直売所・道の駅に少量
生協
自給分のみ
官公庁、ホームセンター、学校、幼稚園他
営農(地代)
無回答 …2件

問11. 主な販売先について (n= 320)



<最も販売額の多い品目別・クロス集計>

	n	合計	農協(共同出荷)	庭先等で消費者に直接販売	観光農園(いちご狩り等)	直売所・道の駅で消費者に販売	スーパーの地場野菜コーナーで消費者に販売	小売業者に販売	飲食業者・加工食品業者に販売	農協以外の集出荷団体に販売	卸売市場に出荷・販売	酪農業協同組合	市内の学校給食向けの出荷	インターネット販売	輸出	販売していない(自家消費)	その他	無回答
全体	320	401	63	45	4	63	19	19	2	13	23	4	0	1	0	78	18	49
コメ	92	125	20%	14%	1%	20%	6%	6%	1%	4%	7%	1%	0%	0%	0%	24%	6%	15%
にんじん	6	8	36%	16%	2%	18%	5%	20%	2%	9%	5%	0%	0%	1%	0%	17%	5%	0%
ねぎ	20	23	7%	6%	0%	4%	2%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	0%
だいこん	3	3	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	10%	5%	0%
ほうれんそう	9	11	3%	2%	0%	3%	0%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
こまつな	3	5	0%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%
梨	25	42	2%	8%	1%	16%	3%	1%	0%	0%	8%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%
えだまめ	2	3	1%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
トマト	6	9	2%	2%	0%	2%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
きゅうり	1	1	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
酪農	6	9	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
養豚	1	1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
花き	4	5	1%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%
その他	52	59	3%	7%	0%	9%	2%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	23%	8%	4%
無回答	90	95	6%	2%	0%	5%	3%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	35%	0%	42%

問 1 2. 農業経営における問題（複数回答）

「後継者がいない」が 35.6%と最も多く、次いで「労働力の不足」が 30.9%、「温暖化、台風増加等自然環境の変化」が 26.9%と多くみられた。

年齢別クロス集計では、「50 代」以上の層で「後継者がいない」、「40 代」と「50 代」で「労働力の不足」が多くみられた。

経営形態別クロス集計では、「専業農家」、「法人経営体」で「労働力の不足」と「温暖化、台風増加等自然環境の変化」が多くみられた。

認定の有無別クロス集計では、「認定を受けている」は全体的に各回答の割合が高く、特に「労働力の不足」は高い割合となった。一方で、「後継者がいない」の割合は他の区分と比較して低かった。

水田面積別クロス集計では、「5ha～10ha 未満」から「30～50ha 未満」の層でも「後継者がいない」や「労働力の不足」といった問題の割合が高くなった。また、比較的面積規模の小さい層で「農地の分散・点在」の割合が高くなった。

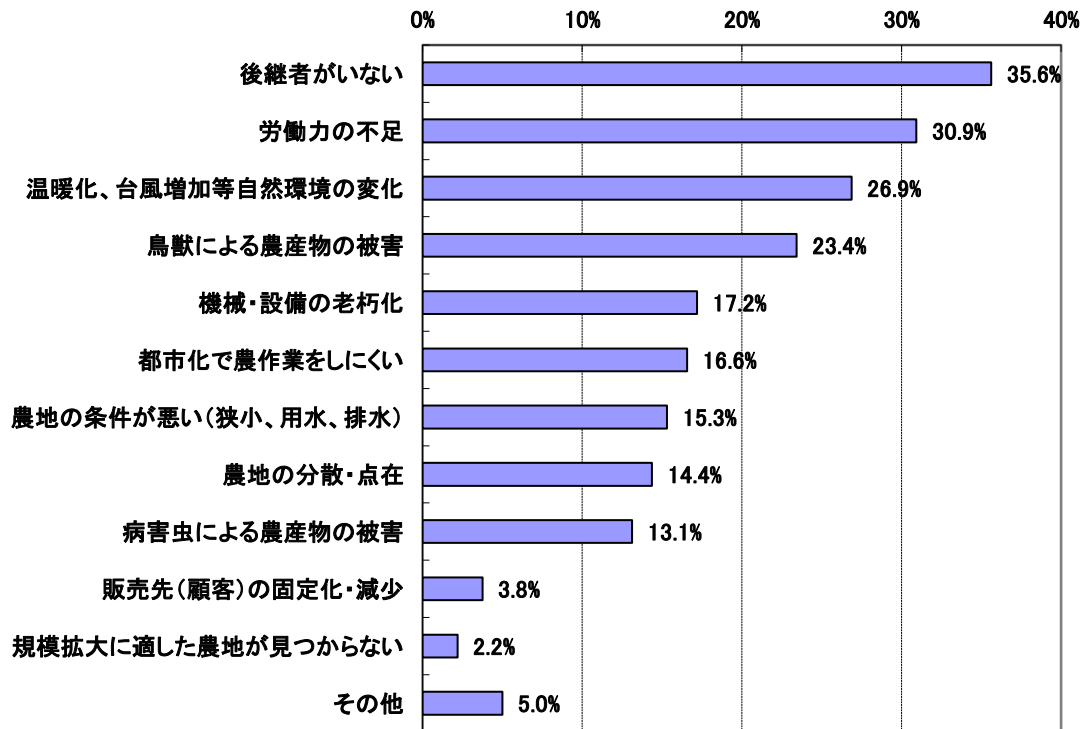
畑・樹園地面積別クロス集計では、全ての層で「労働力の不足」が高い割合でみられ、「3～5ha 未満」では「後継者がいない」が突出して高い割合となった。また、比較的面積規模の大きい層でも「規模拡大に適した農地が見つからない」の回答がみられた。

栽培品目別クロス集計では、「水稻」と「花き」で「後継者がいない」の割合が特に高く、「施設野菜」では比較的低い割合となった。「果樹」で「労働力の不足」が特に高い割合となった。

	回答数	比率
後継者がいない	114	35.6%
労働力の不足	99	30.9%
温暖化、台風増加等自然環境の変化	86	26.9%
鳥獣による農産物の被害	75	23.4%
機械・設備の老朽化	55	17.2%
都市化で農作業をしにくい	53	16.6%
農地の条件が悪い(狭小、用水、排水)	49	15.3%
農地の分散・点在	46	14.4%
病害虫による農産物の被害	42	13.1%
販売先(顧客)の固定化・減少	12	3.8%
規模拡大に適した農地が見つからない	7	2.2%
その他	16	5.0%
無回答	41	12.8%
合計	695	-
n	320	

その他
法人営農に任せる
低い収入
農業のみの収入では税金が払えない。
低価格化
体力がなくなった
剪定枝の処理
自給的な農家につき農業経営していない
高齢化による労働力不足
工場からトタン、ベニア板とんで来る
後継者はどうなるかわからない
後継が出来るかわからない
現状維持でいいと考えている
原価にみあう販売単価設定が難しい
特になし
無回答 …2件

問12. 現状の農業経営における問題について (n= 320)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	労働力の不足	農地の分散・点在	水（狭小、用水、排水）	農地の条件が悪い	規模拡大に適した農地が見つからない	温暖化、台風増加等自然環境の変化	機械・設備の老朽化	病虫害による農産物の被害	鳥獣による農産物の被害	都市化で農作業をしにくい	販売先（顧客）の固定・減少	後継者がいない	その他	無回答
全体	320	695	99	46	49	7	86	55	42	75	53	12	114	16	41	
		217%	31%	14%	15%	2%	27%	17%	13%	23%	17%	4%	36%	5%	13%	
～20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
30代	1	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		300%	0%	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
40代	6	17	4	1	1	0	2	1	2	2	2	0	1	1	0	
		283%	67%	17%	17%	0%	33%	17%	33%	33%	33%	0%	17%	17%	0%	
50代	39	105	20	5	7	1	16	13	7	10	12	2	12	0	0	
		269%	51%	13%	18%	3%	41%	33%	18%	26%	31%	5%	31%	0%	0%	
60代	110	265	35	21	22	4	35	29	19	24	16	5	36	9	10	
		241%	32%	19%	20%	4%	32%	26%	17%	22%	15%	5%	33%	8%	9%	
70代	107	203	25	14	12	1	19	9	10	30	11	4	44	1	23	
		190%	23%	13%	11%	1%	18%	8%	9%	28%	10%	4%	41%	1%	21%	
80歳以上	51	94	13	4	7	0	11	3	3	9	12	1	20	5	6	
		184%	25%	8%	14%	0%	22%	6%	6%	18%	24%	2%	39%	10%	12%	
無回答	6	8	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	
		133%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	17%	0%	0%	0%	17%	0%	33%	

<経営形態別・クロス集計>

	n	合計	労働力の不足	農地の分散・点在	小農地、用水、排水（狭小）	農地の条件が悪い	規模拡大に適した農地が見つからない	温暖化、台風増加等自然環境の変化	機械・設備の老朽化	病虫害による農産物の被害	鳥獣による農産物の被害	都市化で農作業をしにくい	販売先（顧客）の固定・減少	後継者がいない	その他	無回答
全体	320	695	99	46	49	7	86	55	42	75	53	12	114	16	41	
		217%	31%	14%	15%	2%	27%	17%	13%	23%	17%	4%	36%	5%	13%	
専業農家	51	154	27	9	13	2	23	13	12	22	7	4	18	1	3	
		302%	53%	18%	25%	4%	45%	25%	24%	43%	14%	8%	35%	2%	6%	
第一種兼業農家	34	89	11	3	5	1	17	9	7	15	9	4	7	0	1	
		262%	32%	9%	15%	3%	50%	26%	21%	44%	26%	12%	21%	0%	3%	
第二種兼業農家	153	314	47	24	27	1	32	25	17	26	28	4	58	9	16	
		205%	31%	16%	18%	1%	21%	16%	11%	17%	18%	3%	38%	6%	10%	
自給的農家	48	71	7	5	1	0	6	2	4	8	4	0	20	4	10	
		148%	15%	10%	2%	0%	13%	4%	8%	17%	8%	0%	42%	8%	21%	
法人経営体	10	29	4	3	2	3	4	5	2	1	2	0	3	0	0	
		290%	40%	30%	20%	30%	40%	50%	20%	10%	20%	0%	30%	0%	0%	
無回答	24	38	3	2	1	0	4	1	0	3	3	0	8	2	11	
		158%	13%	8%	4%	0%	17%	4%	0%	13%	13%	0%	33%	8%	46%	

<認定の有無別・クロス集計>

	n	合計	労働力の不足	農地の分散・点在	水（狭小、用水、排水）	農地の条件が悪い	規模拡大に適した農地が見つからない	自然環境の変化	温暖化、台風増加等	機械・設備の老朽化	病害虫による農産物の被害	鳥獣による農産物の被害	に都市化で農作業をしにくい	販売先（顧客）の固定化・減少	後継者がいない	その他	無回答
全体	320	695	99	46	49	7	86	55	42	75	53	12	114	16	41		
		217%	31%	14%	15%	2%	27%	17%	13%	23%	17%	4%	36%	5%	13%		
認定を受けている	40	131	27	12	12	6	18	16	7	10	8	2	10	3	0		
		328%	68%	30%	30%	15%	45%	40%	18%	25%	20%	5%	25%	8%	0%		
認定を受けていない	154	347	49	22	23	1	46	30	23	44	26	8	57	6	12		
		225%	32%	14%	15%	1%	30%	19%	15%	29%	17%	5%	37%	4%	8%		
制度を知らない	101	179	21	12	11	0	14	8	11	16	16	2	44	7	17		
		177%	21%	12%	11%	0%	14%	8%	11%	16%	16%	2%	44%	7%	17%		
無回答	25	38	2	0	3	0	8	1	1	5	3	0	3	0	12		
		152%	8%	0%	12%	0%	32%	4%	4%	20%	12%	0%	12%	0%	48%		

<水田面積別・クロス集計>

	n	合計	労働力の不足	農地の分散・点在	水（狭小、用水、排水）	農地の条件が悪い	規模拡大に適した農地が見つからない	自然環境の変化	温暖化、台風増加等	機械・設備の老朽化	病害虫による農産物の被害	鳥獣による農産物の被害	に都市化で農作業をしにくい	販売先（顧客）の固定化・減少	後継者がいない	その他	無回答
全体	320	695	99	46	49	7	86	55	42	75	53	12	114	16	41		
		217%	31%	14%	15%	2%	27%	17%	13%	23%	17%	4%	36%	5%	13%		
50a未満	110	242	30	22	16	4	28	18	13	28	19	4	45	8	7		
		220%	27%	20%	15%	4%	25%	16%	12%	25%	17%	4%	41%	7%	6%		
50a～1ha未満	56	145	22	13	18	2	20	14	8	12	7	4	22	2	1		
		259%	39%	23%	32%	4%	36%	25%	14%	21%	13%	7%	39%	4%	2%		
1ha～5ha未満	26	60	10	8	5	0	8	8	1	7	2	2	7	0	2		
		231%	38%	31%	19%	0%	31%	31%	4%	27%	8%	8%	27%	0%	8%		
5～10ha未満	5	11	2	0	0	0	3	3	0	0	1	0	2	0	0		
		220%	40%	0%	0%	0%	60%	60%	0%	0%	20%	0%	40%	0%	0%		
10～30ha未満	12	30	4	0	4	1	4	1	2	4	1	0	6	1	2		
		250%	33%	0%	33%	8%	33%	8%	17%	33%	8%	0%	50%	8%	17%		
30～50ha未満	5	15	5	1	0	0	1	2	2	0	0	0	4	0	0		
		300%	100%	20%	0%	0%	20%	40%	40%	0%	0%	0%	80%	0%	0%		
50ha以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%		
無回答	105	191	26	2	6	0	22	9	16	24	23	2	28	5	28		
		182%	25%	2%	6%	0%	21%	9%	15%	23%	22%	2%	27%	5%	27%		

<畑・樹園地面積別・クロス集計>

	n	合計	労働力の不足	農地の分散・点在	小、農地の条件が悪い(狭小、用水、排水)	規模拡大に適した農地が見つかからない	温暖化、台風増加等自然環境の変化	機械・設備の老朽化	被害 病虫害による農産物の被害	害 鳥獣による農産物の被害	く 都市化で農作業をしにくい	販 販売先(顧客)の固定・減少	後継者がいない	その他	無回答
全体	320	695	99 217%	46 31%	49 14%	7 15%	86 2%	55 27%	42 17%	75 23%	53 17%	12 4%	114 36%	16 5%	41 13%
30a未満	109	211	23 194%	18 21%	18 17%	0 0%	18 17%	14 13%	13 12%	17 16%	15 14%	3 3%	49 45%	9 8%	14 13%
30a~1ha未満	108	258	43 239%	17 40%	18 16%	2 17%	41 2%	24 38%	18 22%	33 17%	20 31%	4 19%	30 28%	3 3%	5 5%
1~3ha未満	36	97	17 269%	6 47%	7 17%	2 6%	14 39%	10 28%	5 14%	11 31%	9 25%	3 8%	8 22%	3 8%	2 6%
3~5ha未満	9	28	4 311%	1 44%	1 11%	1 11%	3 33%	3 33%	1 11%	5 56%	2 22%	0 0%	7 78%	0 0%	0 0%
5ha以上	6	22	2 367%	2 33%	1 33%	1 17%	3 50%	3 50%	3 50%	4 67%	2 33%	0 0%	0 0%	0 0%	1 17%
無回答	52	79	10 152%	2 19%	4 4%	1 8%	7 2%	1 13%	2 2%	5 10%	5 10%	2 4%	20 38%	1 2%	19 37%

<栽培品目別・クロス集計>

	n	合計	労働力の不足	農地の分散・点在	小、農地の条件が悪い(狭小、用水、排水)	規模拡大に適した農地が見つかからない	温暖化、台風増加等自然環境の変化	機械・設備の老朽化	被害 病虫害による農産物の被害	害 鳥獣による農産物の被害	く 都市化で農作業をしにくい	販 販売先(顧客)の固定・減少	後継者がいない	その他	無回答
全体	487	1121	167 230%	85 34%	85 17%	10 17%	151 2%	98 31%	67 20%	118 14%	77 24%	23 16%	167 5%	22 34%	51 10%
水稲	144	356	56 247%	34 39%	35 24%	4 24%	46 3%	37 32%	21 26%	32 15%	12 22%	9 8%	57 40%	5 3%	8 6%
麦・大豆	3	6	0 200%	1 33%	0 0%	0 0%	2 67%	0 0%	0 0%	1 33%	1 33%	0 0%	1 33%	0 0%	0 0%
露地野菜	200	461	68 231%	34 34%	32 17%	3 16%	58 2%	33 17%	30 15%	61 31%	34 17%	8 4%	67 34%	12 6%	21 11%
施設野菜	17	44	7 259%	3 41%	2 18%	0 0%	11 65%	4 24%	6 35%	5 29%	1 6%	0 0%	3 18%	1 6%	1 6%
果樹	56	144	26 257%	7 46%	9 13%	1 16%	25 2%	16 45%	8 29%	15 14%	17 30%	5 9%	11 20%	2 4%	2 4%
畜産	8	18	2 225%	2 25%	1 13%	2 25%	3 38%	6 75%	0 0%	0 0%	1 13%	0 0%	1 13%	0 0%	0 0%
花き	6	15	2 250%	0 33%	1 17%	0 0%	2 33%	0 0%	0 0%	2 33%	3 50%	1 17%	4 67%	0 0%	0 0%
その他	19	36	4 189%	3 21%	4 16%	0 21%	2 0%	2 11%	1 5%	2 11%	5 26%	0 0%	10 53%	2 11%	1 5%
無回答	34	41	2 121%	1 6%	1 3%	0 3%	2 6%	0 0%	1 3%	0 0%	3 9%	0 0%	13 38%	0 0%	18 53%

問 1 2 - 1. 負担と感じる作業内容（問 1 2「労働力不足」回答者、3 品目まで記入）

稲では「田植（補植、苗の運搬等）」、野菜類では「箱詰」などの出荷調整作業や収穫、果樹では「収穫」や「剪定」が多くみられた。

品目	作業内容	回答件数
稲	田植(補植、苗の運搬等)	11
	高齢の為全ての作業	2
	草刈	4
	稲刈	2
	米袋の運搬(稲刈時)	2
	農機の老朽化による作業性悪化	2
	粃の運搬(稲刈時)	1
	袋詰め	1
	稲作り	1
	苗作り	1
	剪定	1
	管理作業全般	1
	春、秋の作業補助	1
	全体の作業	1
	後継者がいない	1
ねぎ	仕分け、箱詰	3
	収穫作業	2
	堀取り	1
	農薬散布	1
	一般的に不足感を感じる	1
にんじん	箱詰	6
	ほ場からの運搬	4
	洗浄	3
	一般的に不足感を感じる	2
	収穫	1
	出荷作業	1
トマト	畑管理	2
	収穫	2
	荷造り	1
	病害虫対応	1
	農薬管理	1
その他野菜	除草	4
	収穫	4
	荷造り	3
	洗浄	3
	管理作業全般	2
	剪定・芽かき	2
	病害虫対応	1
	鳥獣対応	1
	高齢化	1
	後継者がいない	1

品目	作業内容	回答件数
果樹	収穫	8
	剪定	8
	剪定後の枝処理	3
	除草	3
	畑からの運搬	1
	交配	1
	販売	1
	管理作業全般	1
	後継者がいない	1
	兼業のため労働力不足	1
いちご	莓刈り、莓の手入れでのパート人員不足	1
直売向け	袋詰め等商品化	4
	出荷先への搬送・売残りの搬出	3
	免許返納を考えている	1
無回答	草刈り	2
	仕事量多い、長時間労働	2
	酪農作業全般	1
	出荷作業	1
	体力がない	1
	自家消費であるが全ての作業	1
	収入にならないので、農作業に就農しない	1

Ⅲ 今後の農業経営の展望について

問13. 今後の農業経営の方針

◇ 5年後

「現状を維持」が39.4%と最も多く、次いで「分からない」が24.1%、「離農・引退」が15.9%と多くみられた。「法人・他の人に任せたい」は18件、「経営規模を拡大」は11件みられた。

年齢別クロス集計では、「40代」と「50代」で「現状を維持」が多くみられ、「60代」以上の層で「離農・引退」、「法人・他の人に任せたい」、「分からない」が多くみられた。

耕作地域別クロス集計では、「市街地ゾーン」で「離農・引退」が多くみられた。詳細地区では、「尾崎」、「麦丸」で「経営規模を拡大」が3件ずつみられた中、「麦丸」では「離農・引退」が5件みられた。

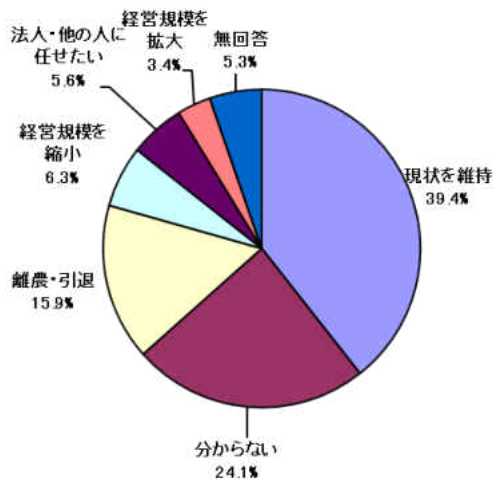
経営形態別クロス集計では、「専業農家」と「第一種兼業農家」では「現状を維持」が多くみられ、「第二種兼業農家」と「自給的農家」で「離農・引退」が多くみられた。

認定の有無別クロス集計では、「認定を受けている」層で「経営規模を拡大」が多くみられた。

栽培品目別クロス集計では、「水稻」と「露地野菜」で「離農・引退」が多くみられた。

	回答数	比率
現状を維持	126	39.4%
分からない	77	24.1%
離農・引退	51	15.9%
経営規模を縮小	20	6.3%
法人・他の人に任せたい	18	5.6%
経営規模を拡大	11	3.4%
無回答	17	5.3%
合計	320	100.0%

問13-①. 今後の農業経営について【5年後の経営】(n=320)



◇ 10年後

「分からない」が 37.5%と最も多く、次いで「離農・引退」が 20.3%、「現状を維持」が 16.9%と多くみられた。

年齢別クロス集計では、「30代」から「60代」で「経営規模を拡大」の回答が見られる一方で、「40代」以上の層では「分からない」が多くみられた。

耕作地域別クロス集計では、「農村ゾーン」で「経営規模を拡大」と「法人・他の人に任せたい」が多く、「市街地ゾーン」で「離農・引退」が多くみられた。詳細地区では、「尾崎」で「経営規模を拡大」が3件、「萱田町」で「離農・引退」が6件、「神野」で「法人・他の人に任せたい」が5件みられた。

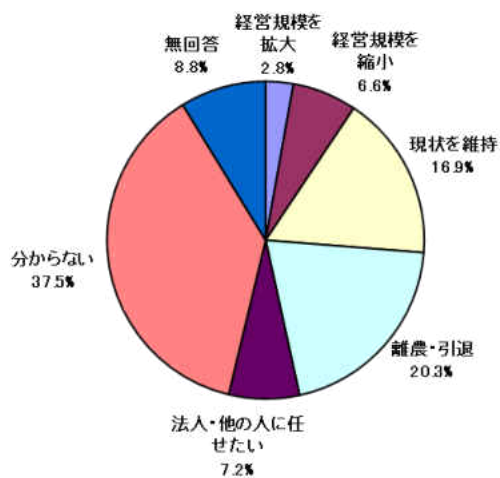
経営形態別クロス集計では、「専業農家」と「法人経営体」でも「分からない」の割合が高かった。

認定の有無別クロス集計では、「認定を受けている」層で「経営規模を拡大」及び「経営規模を縮小」が多く見られる一方で、「離農・引退」は比較的低い割合となった。

栽培品目別クロス集計では、「水稲」と「露地野菜」で「離農・引退」が多く、「法人・他の人に任せたい」、「分からない」も一定数みられた。

	回答数	比率
分からない	120	37.5%
離農・引退	65	20.3%
現状を維持	54	16.9%
法人・他の人に任せたい	23	7.2%
経営規模を縮小	21	6.6%
経営規模を拡大	9	2.8%
無回答	28	8.8%
合計	320	100.0%

問13-②. 今後の農業経営について【10年後の経営】(n=320)



<年齢別・クロス集計>

◇ 5年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	320	320	11	20	126	51	18	77	17
		100%	3%	6%	39%	16%	6%	24%	5%
～20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
30代	1	1	1	0	0	0	0	0	0
		100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
40代	6	6	1	0	4	0	0	1	0
		100%	17%	0%	67%	0%	0%	17%	0%
50代	39	39	4	3	25	0	2	5	0
		100%	10%	8%	64%	0%	5%	13%	0%
60代	110	110	4	12	52	12	4	24	2
		100%	4%	11%	47%	11%	4%	22%	2%
70代	107	107	1	4	30	22	9	32	9
		100%	1%	4%	28%	21%	8%	30%	8%
80歳以上	51	51	0	1	13	17	2	15	3
		100%	0%	2%	25%	33%	4%	29%	6%
無回答	6	6	0	0	2	0	1	0	3
		100%	0%	0%	33%	0%	17%	0%	50%

◇ 10年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	320	320	9	21	54	65	23	120	28
		100%	3%	7%	17%	20%	7%	38%	9%
～20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
30代	1	1	1	0	0	0	0	0	0
		100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
40代	6	6	1	0	2	0	0	3	0
		100%	17%	0%	33%	0%	0%	50%	0%
50代	39	39	4	4	14	3	2	12	0
		100%	10%	10%	36%	8%	5%	31%	0%
60代	110	110	3	12	22	16	11	40	6
		100%	3%	11%	20%	15%	10%	36%	5%
70代	107	107	0	4	12	28	8	41	14
		100%	0%	4%	11%	26%	7%	38%	13%
80歳以上	51	51	0	1	3	17	2	24	4
		100%	0%	2%	6%	33%	4%	47%	8%
無回答	6	6	0	0	1	1	0	0	4
		100%	0%	0%	17%	17%	0%	0%	67%

<耕作地域別・クロス集計※>

◇ 5年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	381	381	16	23	156	59	24	84	19
		100%	4%	6%	41%	15%	6%	22%	5%
農村	231	231	13	15	100	30	20	47	6
		100%	6%	6%	43%	13%	9%	20%	3%
混在	52	52	1	4	25	5	0	15	2
		100%	2%	8%	48%	10%	0%	29%	4%
市街地	86	86	2	4	28	23	2	20	7
		100%	2%	5%	33%	27%	2%	23%	8%
無回答	12	12	0	0	3	1	2	2	4
		100%	0%	0%	25%	8%	17%	17%	33%

詳細地区 緑色：農村ゾーン、オレンジ色：混在ゾーン、青色：市街地ゾーン

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	381	381	16 4%	23 6%	156 41%	59 15%	24 6%	84 22%	19 5%
小池	16	16	1 6%	2 13%	10 63%	1 6%	0 0%	1 6%	1 6%
神久保	4	4	0 0%	0 0%	3 75%	0 0%	0 0%	1 25%	0 0%
真木野	3	3	0 0%	0 0%	1 33%	1 33%	0 0%	1 33%	0 0%
佐山	11	11	0 0%	1 9%	6 55%	1 9%	0 0%	3 27%	0 0%
平戸	8	8	0 0%	0 0%	5 63%	1 13%	1 13%	1 13%	0 0%
島田台	17	17	0 0%	1 6%	7 41%	2 12%	0 0%	6 35%	1 6%
島田	13	13	0 0%	1 8%	7 54%	1 8%	2 15%	1 8%	1 8%
桑橋	9	9	1 11%	0 0%	3 33%	3 33%	0 0%	1 11%	1 11%
桑納	18	18	1 6%	3 17%	4 22%	3 17%	2 11%	5 28%	0 0%
尾崎	13	13	3 23%	1 8%	5 38%	1 8%	0 0%	3 23%	0 0%
麦丸	27	27	3 11%	2 7%	11 41%	5 19%	1 4%	5 19%	0 0%
上高野	13	13	0 0%	0 0%	6 46%	3 23%	1 8%	3 23%	0 0%
下高野	12	12	0 0%	0 0%	5 42%	2 17%	2 17%	2 17%	1 8%
逆水	14	14	1 7%	0 0%	6 43%	1 7%	1 7%	4 29%	1 7%
下宿	13	13	1 8%	2 15%	7 54%	1 8%	2 15%	0 0%	0 0%
上宿	4	4	0 0%	0 0%	1 25%	1 25%	1 25%	1 25%	0 0%
内宿	9	9	1 11%	0 0%	4 44%	0 0%	2 22%	2 22%	0 0%
神野	12	12	0 0%	1 8%	6 50%	1 8%	2 17%	2 17%	0 0%
保品郷	6	6	1 17%	0 0%	0 0%	1 17%	2 33%	2 33%	0 0%
保品南	4	4	0 0%	0 0%	1 25%	1 25%	1 25%	1 25%	0 0%
保品須賀	5	5	0 0%	1 20%	2 40%	0 0%	0 0%	2 40%	0 0%
萱田下	10	10	0 0%	1 10%	2 20%	2 20%	0 0%	4 40%	1 10%
花輪	8	8	0 0%	0 0%	5 63%	1 13%	0 0%	1 13%	1 13%
寺台	5	5	0 0%	1 20%	3 60%	0 0%	0 0%	1 20%	0 0%
高本	7	7	0 0%	2 29%	3 43%	0 0%	0 0%	2 29%	0 0%
中郷	6	6	0 0%	0 0%	2 33%	1 17%	0 0%	3 50%	0 0%
宮内	16	16	1 6%	0 0%	10 63%	1 6%	0 0%	4 25%	0 0%
高津新田	3	3	1 33%	1 33%	0 0%	1 33%	0 0%	0 0%	0 0%
萱田町	10	10	0 0%	0 0%	1 10%	6 60%	1 10%	2 20%	0 0%
大和田	8	8	0 0%	0 0%	4 50%	1 13%	1 13%	1 13%	1 13%
大和田新田上	11	11	0 0%	0 0%	4 36%	3 27%	0 0%	4 36%	0 0%
大和田新田下	10	10	0 0%	0 0%	4 40%	4 40%	0 0%	1 10%	1 10%
高津(西)	8	8	1 13%	1 13%	1 13%	2 25%	0 0%	1 13%	2 25%
高津(南)	9	9	0 0%	1 11%	3 33%	0 0%	0 0%	4 44%	1 11%
勝田	13	13	0 0%	0 0%	3 23%	2 15%	0 0%	6 46%	2 15%
下市場	2	2	0 0%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	1 50%	0 0%
下町	0	0	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
台町	1	1	0 0%	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%	0 0%	0 0%
辺田前	1	1	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
上高野原	5	5	0 0%	1 20%	2 40%	2 40%	0 0%	0 0%	0 0%
萱田上	5	5	0 0%	0 0%	4 80%	1 20%	0 0%	0 0%	0 0%
無回答	12	12	0 0%	0 0%	3 25%	1 8%	2 17%	2 17%	4 33%

◇ 10年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	381	381	22	25	64	75	29	131	35
		100%	6%	7%	17%	20%	8%	34%	9%
農村	231	231	20	17	32	39	24	82	17
		100%	9%	7%	14%	17%	10%	35%	7%
混在	52	52	2	4	12	8	0	24	2
		100%	4%	8%	23%	15%	0%	46%	4%
市街地	86	86	0	4	18	25	3	24	12
		100%	0%	5%	21%	29%	3%	28%	14%
無回答	12	12	0	0	2	3	2	1	4
		100%	0%	0%	17%	25%	17%	8%	33%

詳細地区 緑色：農村ゾーン、オレンジ色：混在ゾーン、青色：市街地ゾーン

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	381	381	22	25	64	75	29	131	35
		100%	6%	7%	17%	20%	8%	34%	9%
小池	16	16	2	2	1	3	0	7	1
		100%	13%	13%	6%	19%	0%	44%	6%
神久保	4	4	2	0	1	0	0	1	0
		100%	50%	0%	25%	0%	0%	25%	0%
真木野	3	3	0	0	0	1	0	1	1
		100%	0%	0%	0%	33%	0%	33%	33%
佐山	11	11	2	1	0	1	2	5	0
		100%	18%	9%	0%	9%	18%	45%	0%
平戸	8	8	0	0	1	1	2	4	0
		100%	0%	0%	13%	13%	25%	50%	0%
島田台	17	17	2	4	1	3	0	5	2
		100%	12%	24%	6%	18%	0%	29%	12%
島田	13	13	1	2	3	3	2	2	0
		100%	8%	15%	23%	23%	15%	15%	0%
桑橋	9	9	1	0	1	2	1	3	1
		100%	11%	0%	11%	22%	11%	33%	11%
桑納	18	18	1	1	3	3	3	5	2
		100%	6%	6%	17%	17%	17%	28%	11%
尾崎	13	13	3	1	1	0	0	7	1
		100%	23%	8%	8%	0%	0%	54%	8%
妻丸	27	27	2	1	5	4	2	11	2
		100%	7%	4%	19%	15%	7%	41%	7%
上高野	13	13	0	1	3	4	1	4	0
		100%	0%	8%	23%	31%	8%	31%	0%
下高野	12	12	0	1	0	3	2	5	1
		100%	0%	8%	0%	25%	17%	42%	8%
逆水	14	14	2	1	2	3	1	3	2
		100%	14%	7%	14%	21%	7%	21%	14%
下宿	13	13	1	1	4	2	1	3	1
		100%	8%	8%	31%	15%	8%	23%	8%
上宿	4	4	0	0	0	1	0	2	1
		100%	0%	0%	0%	25%	0%	50%	25%
内宿	9	9	1	0	4	0	1	1	2
		100%	11%	0%	44%	0%	11%	11%	22%
神野	12	12	0	1	1	1	5	4	0
		100%	0%	8%	8%	8%	42%	33%	0%
保品郷	6	6	0	0	0	1	1	4	0
		100%	0%	0%	0%	17%	17%	67%	0%
保品南	4	4	0	0	1	2	0	1	0
		100%	0%	0%	25%	50%	0%	25%	0%
保品須賀	5	5	0	0	0	1	0	4	0
		100%	0%	0%	0%	20%	0%	80%	0%
萱田下	10	10	0	1	0	3	0	6	0
		100%	0%	10%	0%	30%	0%	60%	0%
花輪	8	8	1	0	0	1	0	5	1
		100%	13%	0%	0%	13%	0%	63%	13%
寺台	5	5	0	2	1	1	0	1	0
		100%	0%	40%	20%	20%	0%	20%	0%
高本	7	7	1	1	1	0	0	4	0
		100%	14%	14%	14%	0%	0%	57%	0%
中郷	6	6	0	0	0	2	0	4	0
		100%	0%	0%	0%	33%	0%	67%	0%
宮内	16	16	0	0	10	1	0	4	1
		100%	0%	0%	63%	6%	0%	25%	6%
高津新田	3	3	0	0	0	2	0	1	0
		100%	0%	0%	0%	67%	0%	33%	0%
萱田町	10	10	0	0	1	6	1	1	1
		100%	0%	0%	10%	60%	10%	10%	10%
大和田	8	8	0	0	3	1	1	2	1
		100%	0%	0%	38%	13%	13%	25%	13%
大和田新田上	11	11	0	1	3	3	0	3	1
		100%	0%	9%	27%	27%	0%	27%	9%
大和田新田下	10	10	0	0	4	4	0	0	2
		100%	0%	0%	40%	40%	0%	0%	20%
高津(西)	8	8	0	1	1	2	0	2	2
		100%	0%	13%	13%	25%	0%	25%	25%
高津(南)	9	9	0	0	3	0	0	4	2
		100%	0%	0%	33%	0%	0%	44%	22%
勝田	13	13	0	1	0	2	1	6	3
		100%	0%	8%	0%	15%	8%	46%	23%
下市場	2	2	0	0	1	0	0	1	0
		100%	0%	0%	50%	0%	0%	50%	0%
下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
台町	1	1	0	0	0	1	0	0	0
		100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%
辺田前	1	1	0	0	1	0	0	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
上高野原	5	5	0	1	0	3	0	1	0
		100%	0%	20%	0%	60%	0%	20%	0%
萱田上	5	5	0	0	1	1	0	3	0
		100%	0%	0%	20%	20%	0%	60%	0%
無回答	12	12	0	0	2	3	2	1	4
		100%	0%	0%	17%	25%	17%	8%	33%

<経営形態別・クロス集計>

◇ 5年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	320	320	11	20	126	51	18	77	17
		100%	3%	6%	39%	16%	6%	24%	5%
専業農家	51	51	3	4	33	2	1	8	0
		100%	6%	8%	65%	4%	2%	16%	0%
第一種兼業農家	34	34	2	4	22	2	1	2	1
		100%	6%	12%	65%	6%	3%	6%	3%
第二種兼業農家	153	153	3	11	53	26	12	41	7
		100%	2%	7%	35%	17%	8%	27%	5%
自給的農家	48	48	0	1	11	17	2	16	1
		100%	0%	2%	23%	35%	4%	33%	2%
法人経営体	10	10	3	0	2	2	1	2	0
		100%	30%	0%	20%	20%	10%	20%	0%
無回答	24	24	0	0	5	2	1	8	8
		100%	0%	0%	21%	8%	4%	33%	33%

◇ 10年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	320	320	9	21	54	65	23	120	28
		100%	3%	7%	17%	20%	7%	38%	9%
専業農家	51	51	2	4	16	5	2	21	1
		100%	4%	8%	31%	10%	4%	41%	2%
第一種兼業農家	34	34	1	4	11	5	2	10	1
		100%	3%	12%	32%	15%	6%	29%	3%
第二種兼業農家	153	153	3	10	24	36	14	52	14
		100%	2%	7%	16%	24%	9%	34%	9%
自給的農家	48	48	0	2	1	15	4	24	2
		100%	0%	4%	2%	31%	8%	50%	4%
法人経営体	10	10	3	0	1	1	0	4	1
		100%	30%	0%	10%	10%	0%	40%	10%
無回答	24	24	0	1	1	3	1	9	9
		100%	0%	4%	4%	13%	4%	38%	38%

<認定の有無別・クロス集計>

◇ 5年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	320	320	11	20	126	51	18	77	17
		100%	3%	6%	39%	16%	6%	24%	5%
認定を受けている	40	40	7	2	22	4	1	4	0
		100%	18%	5%	55%	10%	3%	10%	0%
認定を受けていない	154	154	3	14	69	24	10	32	2
		100%	2%	9%	45%	16%	6%	21%	1%
制度を知らない	101	101	0	4	30	18	7	35	7
		100%	0%	4%	30%	18%	7%	35%	7%
無回答	25	25	1	0	5	5	0	6	8
		100%	4%	0%	20%	20%	0%	24%	32%

◇ 10年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	320	320	9	21	54	65	23	120	28
		100%	3%	7%	17%	20%	7%	38%	9%
認定を受けている	40	40	4	6	11	4	2	12	1
		100%	10%	15%	28%	10%	5%	30%	3%
認定を受けていない	154	154	4	12	28	31	12	58	9
		100%	3%	8%	18%	20%	8%	38%	6%
制度を知らない	101	101	0	3	13	24	9	41	11
		100%	0%	3%	13%	24%	9%	41%	11%
無回答	25	25	1	0	2	6	0	9	7
		100%	4%	0%	8%	24%	0%	36%	28%

<栽培品目別・クロス集計>

◇ 5年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	487	487	20	40	208	72	24	103	20
		100%	4%	8%	43%	15%	5%	21%	4%
水稻	144	144	6	15	66	21	10	24	2
		100%	4%	10%	46%	15%	7%	17%	1%
麦・大豆	3	3	0	0	2	0	0	1	0
		100%	0%	0%	67%	0%	0%	33%	0%
露地野菜	200	200	5	17	85	37	5	50	1
		100%	3%	9%	43%	19%	3%	25%	1%
施設野菜	17	17	3	4	8	0	1	1	0
		100%	18%	24%	47%	0%	6%	6%	0%
果樹	56	56	3	3	35	2	1	10	2
		100%	5%	5%	63%	4%	2%	18%	4%
畜産	8	8	2	1	2	0	0	3	0
		100%	25%	13%	25%	0%	0%	38%	0%
花き	6	6	0	0	3	2	0	1	0
		100%	0%	0%	50%	33%	0%	17%	0%
その他	19	19	1	0	3	3	3	6	3
		100%	5%	0%	16%	16%	16%	32%	16%
無回答	34	34	0	0	4	7	4	7	12
		100%	0%	0%	12%	21%	12%	21%	35%

◇ 10年後

	n	合計	経営規模を拡大	経営規模を縮小	現状を維持	離農・引退	法人・他の人に任せたい	分からない	無回答
全体	487	487	18	39	82	94	39	176	39
		100%	4%	8%	17%	19%	8%	36%	8%
水稻	144	144	6	13	16	30	16	56	7
		100%	4%	9%	11%	21%	11%	39%	5%
麦・大豆	3	3	0	1	0	0	0	2	0
		100%	0%	33%	0%	0%	0%	67%	0%
露地野菜	200	200	5	17	30	45	13	81	9
		100%	3%	9%	15%	23%	7%	41%	5%
施設野菜	17	17	1	3	5	1	1	4	2
		100%	6%	18%	29%	6%	6%	24%	12%
果樹	56	56	4	4	24	5	4	11	4
		100%	7%	7%	43%	9%	7%	20%	7%
畜産	8	8	2	1	1	0	0	4	0
		100%	25%	13%	13%	0%	0%	50%	0%
花き	6	6	0	0	2	1	0	3	0
		100%	0%	0%	33%	17%	0%	50%	0%
その他	19	19	0	0	3	3	2	8	3
		100%	0%	0%	16%	16%	11%	42%	16%
無回答	34	34	0	0	1	9	3	7	14
		100%	0%	0%	3%	26%	9%	21%	41%

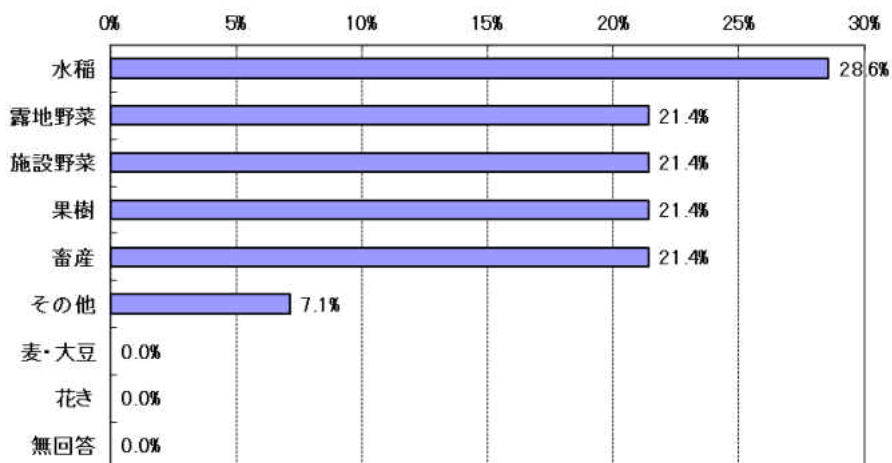
問13-1. 拡大したい部門（問13「経営規模を拡大」回答者、複数回答）

「水稻」が4件、「露地野菜」、「施設野菜」、「果樹」、「畜産」がそれぞれ3件みられた。

	回答数	比率
水稻	4	28.6%
露地野菜	3	21.4%
施設野菜	3	21.4%
果樹	3	21.4%
畜産	3	21.4%
その他	1	7.1%
麦・大豆	0	0.0%
花き	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	17	-
n	14	

その他：そば

問13-1. 拡大したい農業の部門について (n=14)



問 1 4. 農地中間管理機構の利用意向（問 1 3「経営規模を縮小」、「離農・引退」回答者）

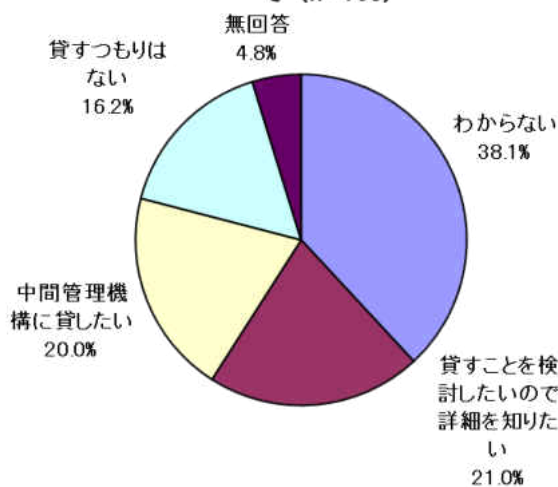
「わからない」が 38.1%で最も多く、「貸すことを検討したいので詳細を知りたい」が 21.0%、「中間管理機構に貸したい」が 20.0%みられた。

耕作地域別クロス集計では、「中間管理機構に貸したい」が「島田」で 4 件、「麦丸」と「上高野」でそれぞれ 3 件みられた。

後継者の有無別クロス集計では、「後継者がいない」層で「中間管理機構に貸したい」と「貸すことを検討したいので詳細を知りたい」が合わせて 28 件みられた。

	回答数	比率
わからない	40	38.1%
貸すことを検討したいので詳細を知りたい	22	21.0%
中間管理機構に貸したい	21	20.0%
貸すつもりはない	17	16.2%
無回答	5	4.8%
合計	105	100.0%

問 14. 農地中間管理機構に農地を貸すことについて (n=105)



<耕作地域別・クロス集計> 緑色：農村ゾーン、オレンジ色：混在ゾーン、青色：市街地ゾーン

	n	合計	中間管理機構に貸したい	貸すことを検討したいの で詳細を知りたい	わからない	貸すつもりはない	無回答
全体	122	122	26	24	47	20	5
		100%	21%	20%	39%	16%	4%
小池	6	6	1	0	3	1	1
		100%	17%	0%	50%	17%	17%
神久保	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
真木野	1	1	1	0	0	0	0
		100%	100%	0%	0%	0%	0%
佐山	3	3	0	0	3	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
平戸	1	1	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
島田台	7	7	1	2	1	3	0
		100%	14%	29%	14%	43%	0%
島田	6	6	4	1	1	0	0
		100%	67%	17%	17%	0%	0%
桑橋	4	4	1	1	2	0	0
		100%	25%	25%	50%	0%	0%
桑納	6	6	2	1	2	0	1
		100%	33%	17%	33%	0%	17%
尾崎	2	2	0	0	2	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
麦丸	8	8	3	1	3	1	0
		100%	38%	13%	38%	13%	0%
上高野	5	5	3	0	2	0	0
		100%	60%	0%	40%	0%	0%
下高野	4	4	2	2	0	0	0
		100%	25%	50%	0%	25%	0%
逆水	4	4	0	2	1	1	0
		100%	0%	50%	25%	25%	0%
下宿	4	4	2	0	1	1	0
		100%	50%	0%	25%	25%	0%
上宿	1	1	0	1	0	0	0
		100%	0%	100%	0%	0%	0%
内宿	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
神野	3	3	2	0	1	0	0
		100%	67%	0%	33%	0%	0%
保品郷	1	1	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
保品南	2	2	1	0	1	0	0
		100%	50%	0%	50%	0%	0%
保品須賀	2	2	0	1	0	0	1
		100%	0%	50%	0%	0%	50%
萱田下	4	4	0	3	1	0	0
		100%	0%	75%	25%	0%	0%
花輪	1	1	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
寺台	3	3	1	2	0	0	0
		100%	33%	67%	0%	0%	0%
高本	2	2	0	0	2	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
中郷	2	2	0	0	2	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
宮内	2	2	0	1	1	0	0
		100%	0%	50%	50%	0%	0%
高津新田	2	2	0	0	1	1	0
		100%	0%	0%	50%	50%	0%
萱田町	7	7	2	2	1	2	0
		100%	29%	29%	14%	29%	0%
大和田	1	1	0	0	0	1	0
		100%	0%	0%	0%	100%	0%
大和田新田上	5	5	0	0	3	2	0
		100%	0%	0%	60%	40%	0%
大和田新田下	5	5	0	1	2	2	0
		100%	0%	20%	40%	40%	0%
高津(西)	3	3	0	0	2	1	0
		100%	0%	0%	67%	33%	0%
高津(南)	1	1	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
勝田	5	5	1	1	3	0	0
		100%	20%	20%	60%	0%	0%
下市場	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
下町	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
台町	1	1	0	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	0%	100%
辺田前	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
上高野原	4	4	0	1	0	2	1
		100%	0%	25%	0%	50%	25%
萱田上	1	1	0	0	0	1	0
		100%	0%	0%	0%	100%	0%
無回答	3	3	0	1	2	0	0
		100%	0%	33%	67%	0%	0%

<後継者の有無別・クロス集計>

	n	合計	中間管理機構に貸したい	貸すことを検討したいの で詳細を知りたい	わからない	貸すつもりはない	無回答
全体	105	105	21	22	40	17	5
		100%	20%	21%	38%	16%	5%
農業後継者がいる	17	17	4	5	6	2	0
		100%	24%	29%	35%	12%	0%
農業後継者はいない	69	69	14	14	27	11	3
		100%	20%	20%	39%	16%	4%
わからない	17	17	3	2	7	3	2
		100%	18%	12%	41%	18%	12%
無回答	2	2	0	1	0	1	0
		100%	0%	50%	0%	50%	0%

問 15. 農業経営の安定に向け、今後取り組みたいこと（複数回答）

①販売面では、「直売所・道の駅で消費者に販売」が 19.7%と最も多く、次いで「庭先等で消費者に直接販売」が 12.8%、「農協（共同出荷）」が 11.3%と多くみられた。②生産面では、「品質・収量の向上」が 32.2%と最も多く、次いで「病害虫への対応」が 23.1%、「鳥獣被害への対応」が 22.5%と多くみられた。③経営面・その他では、「販路の拡大や確保」が 15.9%と最も多く、次いで「青色申告を行う」が 15.6%と多くみられた。

年齢別クロス集計では、①販売面については、「50代」で特に「庭先等で消費者に直接販売」が多くみられた。②生産面については「40代」と「50代」の層で特に「品質・収量の向上」が高い割合でみられた。③経営面・その他では「40代」で特に「販路の拡大や確保」が高い割合でみられた。

経営形態別クロス集計では、①販売面については、「専業農家」、「第一種兼業農家」、「法人経営体」で特に「直売所・道の駅で消費者に販売」の割合が高い。②生産面については、「専業農家」、「第一種兼業農家」、「法人経営体」で特に「品質・収量の向上」と「病害虫への対応」の割合が高い。③経営面・その他については、「専業農家」では「販路の拡大や確保」が高く、「第一種兼業農家」では「販路の拡大や確保」と「青色申告を行う」が高い。「法人経営体」では「労働環境の見直し」、「農地集積、規模拡大をはかる」、「6次産業化」の割合が高い。

認定の有無別クロス集計では、①販売面については、「認定を受けている」で特に「農協（共同出荷）」と「直売所・道の駅で消費者に販売」が多くみられた。②生産面については、「認定を受けている」で特に「品質・収量の向上」、「農繁期の労働力の確保」、「新たな品目・品種の導入」、「作業の効率化に向けた先進技術の情報収集、研究」が多くみられた。③経営面・その他については、「認定を受けている」で特に「販路の拡大や確保」が多くみられたほか、「自らの経営の法人化」が 5 件、「地域等、農業者共同による協業化、法人化」が 7 件みられた。

水田面積別クロス集計では、①販売面については、「30～50ha 未満」で「直売所・道の駅で消費者に販売」が多くみられた。②生産面については、「5～10ha 未満」から「30～50ha 未満」の層で「品質・収量の向上」の割合が高い傾向にあり、「30～50ha 未満」では「農繁期の労働力の確保」の割合が高かった。③経営面・その他については、「1ha～5ha 未満」以下の層で、「農地集積・規模拡大をはかる」が計 15 件、「地域等農業者共同による協業化、法人化」が計 12 件みられた。

畑・樹園地面積別クロス集計では、①販売面については、「30a～1ha 未満」以上の層で「農協（共同出荷）」の割合が高かった。②生産面については、「5ha 以上」で特に「品質・収量の向上」、「病害虫への対応」、「鳥獣被害への対応」の割合が高かった。③経営面・その他については「1～3ha 未満」で「自らの経営の法人化」と「地域等農業者共同による協業化、法人化」が計 8 件みられた。

栽培品目別クロス集計では、①販売面については、「施設野菜」と「果樹」で「直売所・道の駅で消費者に販売」が多くみられた。②生産面については、「施設野菜」と「果樹」で「品質・収量の向上」と「新たな品目・品種の導入」が多くみられた。また、「果樹」では「作業の効率化に向けた先進技術の情報収集・研究」も多くみられ、「畜産」では「品質・収量の向上」が多くみられた。⇒次ページ

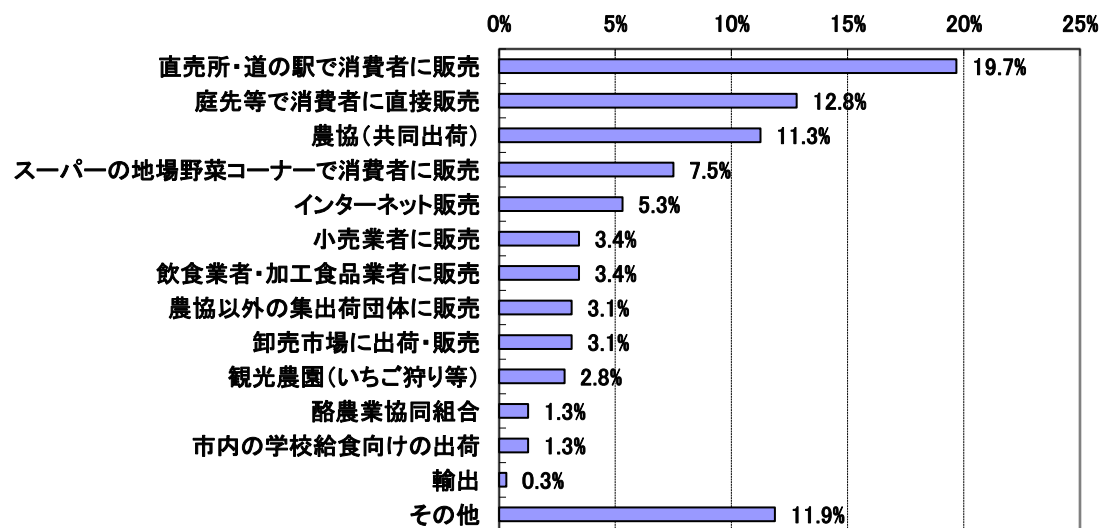
⇒③経営面・その他については、「施設野菜」と「果樹」で「販路の拡大や確保」の割合が高く、「果樹」では「観光農業」も高い割合となった。また、「水稻」と「露地野菜」で「地域等農業者共同による協業化、法人化」が一定数みられた。

最も販売額の大きい品目別クロス集計では、①販売面については、「コメ」と「梨」で「直売所・道の駅で消費者に販売」が多くみられた。②生産面については、「梨」と「酪農」で「品質・収量の向上」の割合が特に高く、「梨」では「農繁期の労働力の確保」、「新たな品目・品種の導入」、「減農薬への取組み」も高い割合となった。③経営面・その他については、「梨」で「販路の拡大や確保」、「酪農」で「6次産業化」の割合が高かった。

①販売面

	回答数	比率	
直売所・道の駅で消費者に販売	63	19.7%	その他 六次化 労働効率が低いから専門出来ない ホームセンター、役所 農業者に農地を任せて活用してもらいたい 自家消費 個性的(品種、栽培他)な生産と販売 高齢で考えていない 現状維持 行商 貸したい 加工販売 朝市 特になし
庭先等で消費者に直接販売	41	12.8%	
農協(共同出荷)	36	11.3%	
スーパーの地場野菜コーナーで消費者に販売	24	7.5%	
インターネット販売	17	5.3%	
小売業者に販売	11	3.4%	
飲食業者・加工食品業者に販売	11	3.4%	
農協以外の集出荷団体に販売	10	3.1%	
卸売市場に出荷・販売	10	3.1%	
観光農園(いちご狩り等)	9	2.8%	
酪農業協同組合	4	1.3%	
市内の学校給食向けの出荷	4	1.3%	
輸出	1	0.3%	
その他	38	11.9%	
無回答	137	42.8%	
合計	416	-	
n	320		

問15-①. 農業経営の安定に向け、「これから強化したいこと」や「新たに進めてみたいこと」について (n=320)



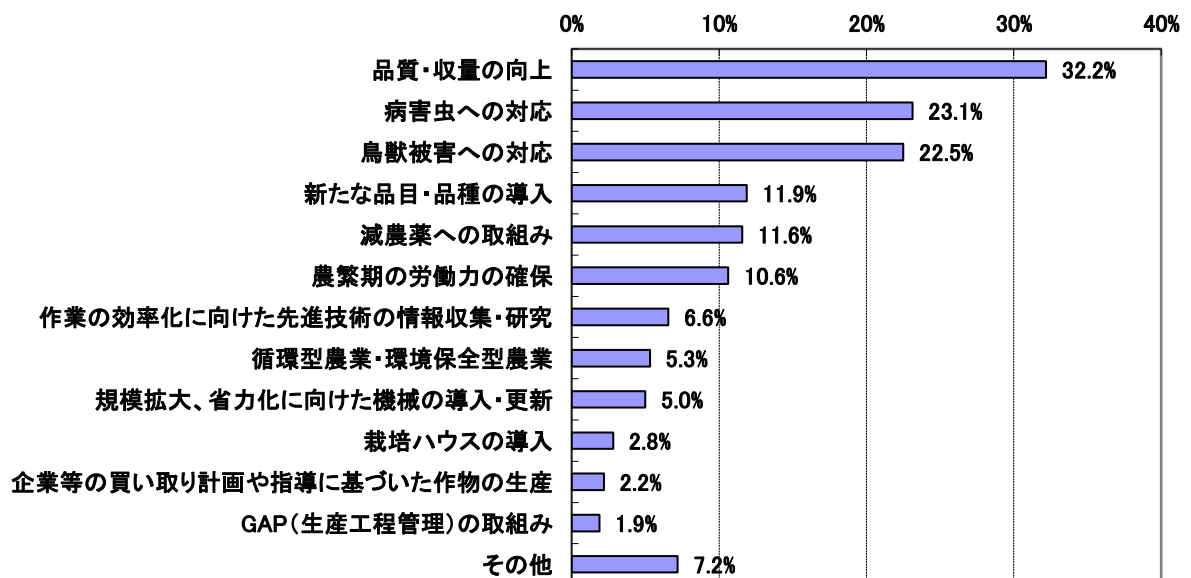
②生産面

	回答数	比率
品質・収量の向上	103	32.2%
病虫害への対応	74	23.1%
鳥獣被害への対応	72	22.5%
新たな品目・品種の導入	38	11.9%
減農薬への取組み	37	11.6%
農繁期の労働力の確保	34	10.6%
作業の効率化に向けた先進技術の情報収集・研究	21	6.6%
循環型農業・環境保全型農業	17	5.3%
規模拡大、省力化に向けた機械の導入・更新	16	5.0%
栽培ハウスの導入	9	2.8%
企業等の買い取り計画や指導に基づいた作物の生産	7	2.2%
GAP(生産工程管理)の取組み	6	1.9%
その他	23	7.2%
無回答	130	40.6%
合計	587	-
n	320	

その他

農業者に農地を任せて活用してもらいたい
個性的(品種、栽培他)な生産と販売
葉・剪定の処理
自給、趣味
現状維持でいいと考えている
環境変化に影響されない野菜生産(工場)
取組なし

問15-②. 生産面について (n= 320)



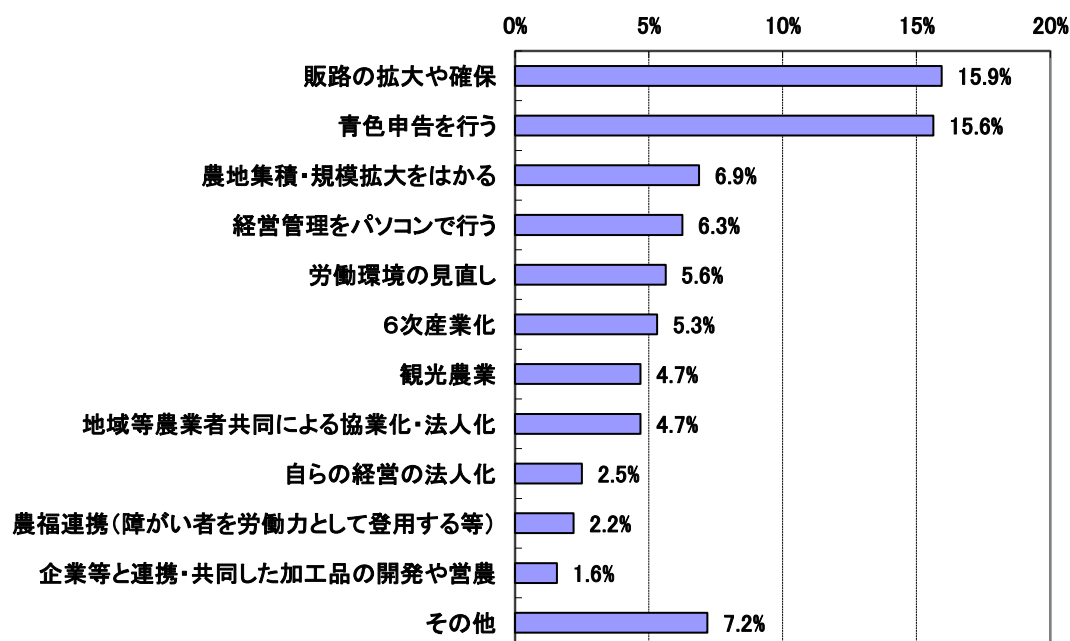
③経営面・その他

	回答数	比率
販路の拡大や確保	51	15.9%
青色申告を行う	50	15.6%
農地集積・規模拡大をはかる	22	6.9%
経営管理をパソコンで行う	20	6.3%
労働環境の見直し	18	5.6%
6次産業化	17	5.3%
観光農業	15	4.7%
地域等農業者共同による協業化・法人化	15	4.7%
自らの経営の法人化	8	2.5%
農福連携(障がい者を労働力として登用する等)	7	2.2%
企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	5	1.6%
その他	23	7.2%
無回答	169	52.8%
合計	420	-
n	320	

その他

個性的(品種、栽培他)な生産と販売
農地があるだけで負担
自給、趣味
今年は夫婦で入院、手術、くりかえし病院へ 二人で好きな農業が出来なかったです

問15-③. 経営面・その他について (n= 320)



<年齢別・クロス集計>

①販売面

	n	合計	農協 (共同出荷)	売 先 等 で 消 費 者 に 直 接 販	親 光 農 園 (いちご狩り 等)	直 売 所 ・ 道 の 駅 で 消 費 者 に 販 売	ス ー パ ー の 地 場 野 菜 コ ー ナ ー で 消 費 者 に 販 売	小 売 業 者 に 販 売	飲 食 業 者 ・ 加 工 食 品 業 者 に 販 売	農 協 以 外 の 集 出 荷 団 体 に 販 売	卸 売 市 場 に 出 荷 ・ 販 売	酪 農 業 協 同 組 合	荷 市 内 の 学 校 給 食 向 け の 出 荷	イ ン タ ー ネ ッ ト 販 売	輸 出	そ の 他	無 回 答
全体	320	416	36	41	9	63	24	11	11	10	10	4	4	17	1	38	137
		130%	11%	13%	3%	20%	8%	3%	3%	3%	3%	1%	1%	5%	0%	12%	43%
～ 20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
30代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%
40代	6	8	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		133%	67%	0%	0%	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
50代	39	65	5	12	1	7	4	2	5	3	1	1	2	5	1	4	12
		167%	13%	31%	3%	18%	10%	5%	13%	8%	3%	3%	5%	13%	3%	10%	31%
60代	110	148	11	13	5	28	12	5	5	2	4	2	2	8	0	16	35
		135%	10%	12%	5%	25%	11%	5%	5%	2%	4%	2%	2%	7%	0%	15%	32%
70代	107	129	11	10	2	20	3	3	1	4	2	1	0	3	0	10	59
		121%	10%	9%	2%	19%	3%	3%	1%	4%	2%	1%	0%	3%	0%	9%	55%
80歳以上	51	58	4	6	0	5	3	1	0	1	3	0	0	1	0	7	27
		114%	8%	12%	0%	10%	6%	2%	0%	2%	6%	0%	0%	2%	0%	14%	53%
無回答	6	7	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		117%	17%	0%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	67%

②生産面

	n	合計	品 質 ・ 収 量 の 向 上	病 害 虫 へ の 対 応	鳥 獣 被 害 へ の 対 応	規 模 拡 大 ・ 省 力 化 に 向 け た 機 械 の 導 入 ・ 更 新	農 繁 期 の 労 働 力 の 確 保	栽 培 ハ ウ ス の 導 入	新 た な 品 目 ・ 品 種 の 導 入	減 農 薬 へ の 取 組 み	農 業 循 環 型 農 業 ・ 環 境 保 全 型	進 技 術 の 効 率 化 に 向 け た 先 進 情 報 集 計 ・ 研 究	G A P (生 産 工 程 管 理) の 取 組 み	産 指 導 に 基 づ い た 作 物 の 生 産	企 業 等 の 買 い 取 り 計 画 や	そ の 他	無 回 答
全体	320	587	103	74	72	16	34	9	38	37	17	21	6	7	23	130	
		183%	32%	23%	23%	5%	11%	3%	12%	12%	5%	7%	2%	2%	7%	41%	
～ 20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
30代	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
		300%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	
40代	6	18	6	3	2	1	1	1	1	2	0	1	0	0	0	0	
		300%	100%	50%	33%	17%	17%	17%	17%	33%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	
50代	39	93	19	10	9	4	8	2	12	5	3	5	1	1	3	11	
		238%	49%	26%	23%	10%	21%	5%	31%	13%	8%	13%	3%	3%	8%	28%	
60代	110	218	39	25	25	8	15	4	13	16	11	12	3	2	11	34	
		198%	35%	23%	23%	7%	14%	4%	12%	15%	10%	11%	3%	2%	10%	31%	
70代	107	169	28	24	26	2	5	1	9	8	1	3	0	2	6	54	
		158%	26%	22%	24%	2%	5%	1%	8%	7%	1%	3%	0%	2%	6%	50%	
80歳以上	51	78	8	11	10	1	4	1	3	6	1	0	1	2	3	27	
		153%	16%	22%	20%	2%	8%	2%	6%	12%	2%	0%	2%	4%	6%	53%	
無回答	6	8	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
		133%	33%	17%	0%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	67%	

③経営面・その他

	n	合計	青色申告を行う	経営管理をパソコンで行う	労働環境の見直し	農地集積・規模拡大をはかる	販路の拡大や確保	6次産業化	企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	観光農業	農福連携（障がい者を労働力として登用する等）	自らの経営の法人化	地域等農業者共同による協業化・法人化	その他	無回答
全体	320	420	50	20	18	22	51	17	5	15	7	8	15	23	169
		131%	16%	6%	6%	7%	16%	5%	2%	5%	2%	3%	5%	7%	53%
～20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
30代	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
40代	6	8	2	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1
		133%	33%	0%	17%	0%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%
50代	39	68	6	3	5	8	8	5	2	4	4	2	4	2	17
		174%	15%	15%	8%	13%	21%	13%	5%	10%	10%	5%	10%	5%	44%
60代	110	156	20	6	9	10	23	8	2	7	3	4	8	11	45
		142%	18%	5%	8%	9%	21%	7%	2%	6%	3%	4%	7%	10%	41%
70代	107	127	18	7	5	5	11	2	1	3	0	1	3	6	65
		119%	17%	7%	5%	5%	10%	2%	1%	3%	0%	1%	3%	6%	61%
80歳以上	51	53	4	0	0	2	5	1	0	0	0	1	0	4	36
		104%	8%	0%	0%	4%	10%	2%	0%	0%	0%	2%	0%	8%	71%
無回答	6	7	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
		117%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	83%

<経営形態別・クロス集計>

①販売面

	n	合計	農協（共同出荷）	産直先等で消費者に直接販売	観光農園（いちご狩り等）	直売所・道の駅で消費者に販売	スーパー・道の駅で消費者に販売	小売業者に販売	飲食業者・加工食品業者に販売	販売協会の集出荷団体に販売	卸売市場に出荷・販売	酪農業協同組合	市内の学校給食向けの出荷	インターネット販売	輸出	その他	無回答
全体	320	416	36	41	9	63	24	11	11	10	10	4	4	17	1	38	137
		130%	11%	13%	3%	20%	8%	3%	3%	3%	3%	1%	1%	5%	0%	12%	43%
専業農家	51	82	14	6	0	23	7	2	2	5	4	1	1	3	0	4	10
		161%	27%	12%	0%	45%	14%	4%	4%	10%	8%	2%	2%	6%	0%	8%	20%
第一種兼業農家	34	48	3	6	1	14	4	2	2	0	2	0	0	1	1	4	8
		141%	9%	18%	3%	41%	12%	6%	6%	0%	0%	6%	0%	3%	3%	12%	24%
第二種兼業農家	153	193	15	24	6	17	12	7	6	1	5	0	3	10	0	20	67
		126%	10%	16%	4%	11%	8%	5%	4%	1%	3%	0%	2%	7%	0%	13%	44%
自給的農家	48	52	0	3	0	4	1	0	1	1	1	0	0	3	0	7	31
		108%	0%	6%	0%	8%	2%	0%	2%	2%	0%	0%	0%	6%	0%	15%	65%
法人経営体	10	17	2	1	2	4	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1	3
		170%	20%	10%	20%	40%	0%	0%	0%	30%	0%	10%	0%	0%	0%	10%	30%
無回答	24	24	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18
		100%	8%	4%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	75%

②生産面

	n	合計	品質・収量の向上	病害虫への対応	鳥獣被害への対応	規模拡大、省力化に向けた機械の導入・更新	農繁期の労働力の確保	栽培ハウスの導入	新たな品目・品種の導入	減農薬への取組み	循環型農業・環境保全型農業	作業の効率化に向けた先進技術の情報収集・研究	GAP（生産工程管理）の取組み	企業等の買いた取り計画や指導に基づいた作物の生産	その他	無回答
全体	320	587	103	74	72	16	34	9	38	37	17	21	6	7	23	130
		183%	32%	23%	23%	5%	11%	3%	12%	12%	5%	7%	2%	2%	7%	41%
専業農家	51	129	26	22	19	3	10	3	12	9	2	10	1	3	1	8
		253%	51%	43%	37%	6%	20%	6%	24%	18%	4%	20%	2%	6%	2%	16%
第一種兼業農家	34	84	21	14	14	4	8	2	4	8	0	1	1	1	0	6
		247%	62%	41%	41%	12%	24%	6%	12%	24%	0%	3%	3%	3%	0%	18%
第二種兼業農家	153	258	43	31	27	7	11	4	19	16	12	6	1	2	14	65
		169%	28%	20%	18%	5%	7%	3%	12%	10%	8%	4%	1%	1%	9%	42%
自給的農家	48	55	4	2	8	0	1	0	1	2	0	0	0	0	7	30
		115%	8%	4%	17%	0%	2%	0%	2%	4%	0%	0%	0%	0%	15%	63%
法人経営体	10	34	7	4	2	2	4	0	1	1	3	4	3	1	0	2
		340%	70%	40%	20%	20%	40%	0%	10%	10%	30%	40%	30%	10%	0%	20%
無回答	24	27	2	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	19
		113%	8%	4%	8%	0%	0%	0%	4%	4%	0%	0%	0%	0%	4%	79%

③経営面・その他

	n	合計	青色申告を行う	経営管理をパソコンで行う	労働環境の見直し	農地集積・規模拡大をはかる	販路の拡大や確保	6次産業化	企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	観光農業	農福連携（障がい者を労働力として登用する等）	自らの経営の法人化	地域等農業者共同による協業化・法人化	その他	無回答
全体	320	420	50	20	18	22	51	17	5	15	7	8	15	23	169
		131%	16%	6%	6%	7%	16%	5%	2%	5%	2%	3%	5%	7%	53%
専業農家	51	78	9	4	8	8	18	3	3	0	0	4	5	1	15
		153%	18%	8%	16%	16%	35%	6%	6%	0%	0%	8%	10%	2%	29%
第一種兼業農家	34	49	10	4	1	3	9	4	1	1	0	1	3	0	12
		144%	29%	12%	3%	9%	26%	12%	3%	3%	0%	3%	9%	0%	35%
第二種兼業農家	153	196	29	10	4	6	22	7	1	10	4	3	4	14	82
		128%	19%	7%	3%	4%	14%	5%	1%	7%	3%	2%	3%	9%	54%
自給的農家	48	53	1	0	2	2	0	0	0	3	3	0	1	6	35
		110%	2%	0%	4%	4%	0%	0%	0%	6%	6%	0%	2%	13%	73%
法人経営体	10	20	1	2	3	3	3	0	1	0	0	0	2	1	2
		200%	10%	20%	30%	30%	20%	30%	0%	10%	0%	0%	20%	10%	20%
無回答	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	96%

<認定の有無別・クロス集計>

①販売面

	n	合計	農協（共同出荷）	売先等で消費者に直接販売	等観光農園（いちご狩り）	に直売所・道の駅で消費者に販売	ナースーバーの地場野菜コーナーで消費者に販売	小売業者に販売	飲食業者・加工食品業者に販売	販売協会の集出荷団体に販売	卸売市場に出荷・販売	酪農業協同組合	市内の学校給食向けの出荷	インターネット販売	輸出	その他	無回答
全体	320	416	36	41	9	63	24	11	11	10	10	4	4	17	1	38	137
		130%	11%	13%	3%	20%	8%	3%	3%	3%	3%	1%	1%	5%	0%	12%	43%
認定を受けている	40	66	10	6	2	14	3	3	4	3	2	4	0	5	1	3	6
		165%	25%	15%	5%	35%	8%	8%	10%	8%	5%	10%	0%	13%	3%	8%	15%
認定を受けていない	154	210	17	22	4	37	16	7	6	5	7	0	3	8	0	18	60
		136%	11%	14%	3%	24%	10%	5%	4%	3%	5%	0%	2%	5%	0%	12%	39%
制度を知らない	101	113	6	12	3	9	4	1	1	2	1	0	1	4	0	16	53
		112%	6%	12%	3%	9%	4%	1%	1%	2%	1%	0%	1%	4%	0%	16%	52%
無回答	25	27	3	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18
		108%	12%	4%	0%	12%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	72%

②生産面

	n	合計	品質・収量の向上	病害虫への対応	鳥獣被害への対応	規模拡大、省力化に向けた機械の導入・更新	農繁期の労働力の確保	栽培ハウスの導入	新たな品目・品種の導入	減農薬への取組み	循環型農業・環境保全型農業	技術の情報収集・研究	GAP（生産工程管理）の取組み	企業等の買い取り計画や指導致に基づいた作物の生産	その他	無回答
全体	320	587	103	74	72	16	34	9	38	37	17	21	6	7	23	130
		183%	32%	23%	23%	5%	11%	3%	12%	12%	5%	7%	2%	2%	7%	41%
認定を受けている	40	120	30	11	12	7	15	2	10	7	4	12	3	3	0	4
		300%	75%	28%	30%	18%	38%	5%	25%	18%	10%	30%	8%	8%	0%	10%
認定を受けていない	154	302	55	44	37	7	14	4	25	23	12	9	3	3	11	55
		196%	36%	29%	24%	5%	9%	3%	16%	15%	8%	6%	2%	2%	7%	36%
制度を知らない	101	133	14	16	17	2	5	1	3	6	1	0	0	1	11	56
		132%	14%	16%	17%	2%	5%	1%	3%	6%	1%	0%	0%	1%	11%	55%
無回答	25	32	4	3	6	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	15
		128%	16%	12%	24%	0%	0%	8%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	4%	60%

③経営面・その他

	n	合計	青色申告を行う	経営管理をパソコンで行う	労働環境の見直し	農地集積・規模拡大をはかる	販路の拡大や確保	6次産業化	企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	観光農業	農福連携（障がい者を労働力として登用する等）	自らの経営の法人化	地域等農業者共同による協業化・法人化	その他	無回答
全体	320	420	50	20	18	22	51	17	5	15	7	8	15	23	169
		131%	16%	6%	6%	7%	16%	5%	2%	5%	2%	3%	5%	7%	53%
認定を受けている	40	79	9	7	10	10	15	6	1	1	0	5	7	1	7
		198%	23%	18%	25%	25%	38%	15%	3%	3%	0%	13%	18%	3%	18%
認定を受けていない	154	206	21	12	6	10	27	11	4	9	5	3	7	10	81
		134%	14%	8%	4%	6%	18%	7%	3%	6%	3%	2%	5%	6%	53%
制度を知らない	101	109	16	1	1	2	8	0	0	5	2	0	1	9	64
		108%	16%	1%	1%	2%	8%	0%	0%	5%	2%	0%	1%	9%	63%
無回答	25	26	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	17
		104%	16%	0%	4%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12%	68%

<水田面積別・クロス集計>

①販売面

	n	合計	農協 (共同出荷)	売 先 等 で 消 費 者 に 直 接 販	等 親 光 農 園 (いちご狩り)	に 直 売 所 ・ 道 の 駅 で 消 費 者 に 販 売	ス ー パ ー の 地 場 野 菜 コ ー ナ ー で 消 費 者 に 販 売	小 売 業 者 に 販 売	飲 食 業 者 ・ 加 工 食 品 業 者 に 販 売	農 協 以 外 の 集 出 荷 団 体 に 販 売	卸 売 市 場 に 出 荷 ・ 販 売	酪 農 業 協 同 組 合	荷 内 の 学 校 給 食 向 け の 出	イ ン タ ー ネ ッ ト 販 売	輸 出	そ の 他	無 回 答
全体	320	416	36	41	9	63	24	11	11	10	10	4	4	17	1	38	137
		130%	11%	13%	3%	20%	8%	3%	3%	3%	3%	1%	1%	5%	0%	12%	43%
50a未満	110	139	7	18	4	20	8	4	5	1	2	3	0	10	0	19	38
		126%	6%	16%	4%	18%	7%	4%	5%	1%	2%	3%	0%	9%	0%	17%	35%
50a～1ha未満	56	82	12	7	2	13	5	5	3	2	3	0	1	3	1	7	18
		146%	21%	13%	4%	23%	9%	9%	5%	4%	5%	0%	2%	5%	2%	13%	32%
1ha～5ha未満	26	38	6	3	0	7	4	1	1	3	1	1	1	0	0	3	7
		146%	23%	12%	0%	27%	15%	4%	4%	12%	4%	4%	4%	0%	0%	12%	27%
5～10ha未満	5	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
		100%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	40%
10～30ha未満	12	20	3	4	0	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	5
		167%	25%	33%	0%	17%	17%	8%	8%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	42%
30～50ha未満	5	10	1	0	2	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
		200%	20%	0%	40%	80%	0%	0%	0%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%
50ha以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
無回答	105	121	6	9	1	17	5	0	0	1	4	0	2	4	0	7	65
		115%	6%	9%	1%	16%	5%	0%	0%	1%	4%	0%	2%	4%	0%	7%	62%

②生産面

	n	合計	品質・ 収量の 向上	病 害 虫 へ の 対 応	鳥 獣 被 害 へ の 対 応	規 模 機 械 の 導 入 ・ 省 力 化 に 向 け	農 繁 期 の 労 働 力 の 確 保	栽 培 ハ ウ ス の 導 入	新 た な 品 目 ・ 品 種 の 導 入	減 農 薬 へ の 取 組 み	農 業 循 環 型 農 業 ・ 環 境 保 全 型	進 技 術 の 情 報 取 集 ・ 研 究	の 取 組 み (生 産 工 程 管 理)	産 指 導 に 基 づ いた 作 物 の 生	企 業 等 の 買 い 取 り 計 画 や	そ の 他	無 回 答
全体	320	587	103	74	72	16	34	9	38	37	17	21	6	7	23	130	
		183%	32%	23%	23%	5%	11%	3%	12%	12%	5%	7%	2%	2%	7%	41%	
50a未満	110	182	31	24	23	3	8	3	10	12	6	7	2	1	14	38	
		165%	28%	22%	21%	3%	7%	3%	9%	11%	5%	6%	2%	1%	13%	35%	
50a～1ha未満	56	126	27	17	12	8	10	2	10	5	5	6	2	2	3	17	
		225%	48%	30%	21%	14%	18%	4%	18%	9%	9%	11%	4%	4%	5%	30%	
1ha～5ha未満	26	48	7	3	7	1	4	2	4	4	3	1	0	2	1	9	
		185%	27%	12%	27%	4%	15%	8%	15%	15%	12%	4%	0%	8%	4%	35%	
5～10ha未満	5	12	3	2	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	
		240%	60%	40%	20%	20%	20%	40%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	
10～30ha未満	12	29	5	4	5	2	1	0	1	3	1	0	1	0	1	5	
		242%	42%	33%	42%	17%	8%	0%	8%	25%	8%	0%	8%	0%	8%	42%	
30～50ha未満	5	17	4	3	0	0	4	0	1	0	0	3	0	1	0	1	
		340%	80%	60%	0%	0%	80%	0%	20%	0%	0%	60%	0%	20%	0%	20%	
50ha以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
無回答	105	172	26	21	24	1	6	0	11	13	2	4	1	1	4	58	
		164%	25%	20%	23%	1%	6%	0%	10%	12%	2%	4%	1%	1%	4%	55%	

③経営面・その他

	n	合計	青色申告を行う	経営管理をパソコンで行う	労働環境の見直し	農地集積・規模拡大をはかる	販路の拡大や確保	6次産業化	企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	観光農業	農福連携（障がい者を労働力として登用する等）	自らの経営の法人化	地域等農業者共同による協業化・法人化	その他	無回答
全体	320	420	50	20	18	22	51	17	5	15	7	8	15	23	169
		131%	16%	6%	6%	7%	16%	5%	2%	5%	2%	3%	5%	7%	53%
50a未満	110	143	15	5	7	5	17	8	1	8	4	2	3	12	56
		130%	14%	5%	6%	5%	15%	7%	1%	7%	4%	2%	3%	11%	51%
50a～1ha未満	56	85	12	3	4	7	13	7	2	3	2	3	5	2	22
		152%	21%	5%	7%	13%	23%	13%	4%	5%	4%	5%	9%	4%	39%
1ha～5ha未満	26	44	7	5	2	3	7	1	1	0	1	2	4	1	10
		169%	27%	19%	8%	12%	27%	4%	4%	0%	4%	8%	15%	4%	38%
5～10ha未満	5	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
		120%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	0%	60%
10～30ha未満	12	19	1	1	2	3	4	1	0	0	0	0	1	1	5
		158%	8%	8%	17%	25%	33%	8%	0%	0%	0%	0%	8%	8%	42%
30～50ha未満	5	9	1	2	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2
		180%	20%	40%	20%	20%	20%	0%	0%	20%	0%	0%	0%	0%	40%
50ha以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
無回答	105	113	12	4	2	3	9	0	1	3	0	1	1	7	70
		108%	11%	4%	2%	3%	9%	0%	1%	3%	0%	1%	1%	7%	67%

<畑・樹園地面積別・クロス集計>

①販売面

	n	合計	農協（共同出荷）	売先等で消費者に直接販売	観光農園（いちご狩り等）	直売所・道の駅で消費者に販売	スーパーの地場野菜コーナーで消費者に販売	小売業者に販売	飲食業者・加工食品業者に販売	農協以外の集出荷団体に販売	卸売市場に出荷・販売	酪農業協同組合	市内の学校給食向けの出荷	インターネット販売	輸出	その他	無回答
全体	320	416	36	41	9	63	24	11	11	10	10	4	4	17	1	38	137
		130%	11%	13%	3%	20%	8%	3%	3%	3%	3%	1%	1%	5%	0%	12%	43%
30a未満	109	129	5	9	4	13	6	3	4	2	3	0	1	4	0	18	57
		118%	5%	8%	4%	12%	6%	3%	4%	2%	3%	0%	1%	4%	0%	17%	52%
30a～1ha未満	108	155	16	20	5	35	10	6	6	4	3	1	3	8	0	13	25
		144%	15%	19%	5%	32%	9%	6%	6%	4%	3%	1%	3%	7%	0%	12%	23%
1～3ha未満	36	55	8	6	0	10	4	1	1	1	4	2	0	4	1	2	11
		153%	22%	17%	0%	28%	11%	3%	3%	3%	11%	6%	0%	11%	3%	6%	31%
3～5ha未満	9	11	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
		122%	22%	22%	0%	0%	22%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	44%
5ha以上	6	8	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
		133%	17%	17%	0%	17%	17%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	17%	33%
無回答	52	58	4	3	0	4	1	1	0	3	0	0	0	1	0	3	38
		112%	8%	6%	0%	8%	2%	2%	0%	6%	0%	0%	0%	2%	0%	6%	73%

②生産面

	n	合計	品質・収量の向上	病害虫への対応	鳥獣被害への対応	規模拡大、省力化に向けた機械の導入・更新	農繁期の労働力の確保	栽培ハウスの導入	新たな品目・品種の導入	減農薬への取組み	循環型農業・環境保全型農業	作業の効率化に向けた先進技術の情報収集・研究	GAP（生産工程管理）の取組み	企業等の買い取り計画や指導致に基づいた作物の生産	その他	無回答
全体	320	587	103	74	72	16	34	9	38	37	17	21	6	7	23	130
		183%	32%	23%	23%	5%	11%	3%	12%	12%	5%	7%	2%	2%	7%	41%
30a未満	109	174	24	17	17	4	9	3	10	11	4	4	0	0	15	56
		160%	22%	16%	16%	4%	8%	3%	9%	10%	4%	4%	0%	0%	14%	51%
30a～1ha未満	108	223	49	36	31	5	13	3	20	15	10	8	3	3	5	22
		206%	45%	33%	29%	5%	12%	3%	19%	14%	9%	7%	3%	3%	5%	20%
1～3ha未満	36	88	18	9	11	4	8	1	7	8	1	6	1	3	1	10
		244%	50%	25%	31%	11%	22%	3%	19%	22%	3%	17%	3%	8%	3%	28%
3～5ha未満	9	14	1	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		156%	11%	33%	44%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	56%
5ha以上	6	20	3	3	4	1	1	1	1	2	1	1	1	0	0	1
		333%	50%	50%	67%	17%	17%	17%	17%	33%	17%	17%	17%	0%	0%	17%
無回答	52	68	8	6	5	1	3	1	0	1	1	2	1	1	2	36
		131%	15%	12%	10%	2%	6%	2%	0%	2%	2%	4%	2%	2%	4%	69%

③経営面・その他

	n	合計	青色申告を行う	経営管理をパソコンで行う	労働環境の見直し	農地集積・規模拡大をはかる	販路の拡大や確保	6次産業化	企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	観光農業	農福連携（障がい者を労働力として登用する等）	自らの経営の法人化	地域等農業者共同による協業化・法人化	その他	無回答
全体	320	420	50	20	18	22	51	17	5	15	7	8	15	23	169
		131%	16%	6%	6%	7%	16%	5%	2%	5%	2%	3%	5%	7%	53%
30a未満	109	129	16	2	2	6	8	2	1	5	3	1	6	12	65
		118%	15%	2%	2%	6%	7%	2%	1%	5%	3%	1%	6%	11%	60%
30a～1ha未満	108	155	22	10	7	8	26	11	2	10	4	3	3	6	43
		144%	20%	9%	6%	7%	24%	10%	2%	9%	4%	3%	3%	6%	40%
1～3ha未満	36	59	7	6	6	3	13	3	2	0	0	4	4	1	10
		164%	19%	17%	17%	8%	36%	8%	6%	0%	0%	11%	11%	3%	28%
3～5ha未満	9	10	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7
		111%	0%	11%	0%	0%	22%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	78%
5ha以上	6	8	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
		133%	33%	0%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	0%	50%
無回答	52	59	3	1	2	4	2	1	0	0	0	0	1	4	41
		113%	6%	2%	4%	8%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	2%	8%	79%

<栽培品目別・クロス集計>

①販売面

	n	合計	農協 (共同出荷)	産 先 等 で 消 費 者 に 直 接 販	等 視 光 農 園 (いちご狩り)	直 売 所 ・ 道 の 駅 で 消 費 者 に 販 売	ス ー パ ー の 地 場 野 菜 コ ー ナ ー で 消 費 者 に 販 売	小 売 業 者 に 販 売	飲 食 業 者 ・ 加 工 食 品 業 者 に 販 売	販 協 以 外 の 集 出 荷 団 体 に 販 売	卸 売 市 場 に 出 荷 ・ 販 売	酪 農 業 協 同 組 合	荷 内 の 学 校 給 食 向 け の 出 荷	イ ン タ ー ネ ッ ト 販 売	輸 出	そ の 他	無 回 答
全体	487	671	58	64	16	114	47	20	22	17	19	8	7	31	1	61	186
		138%	12%	13%	3%	23%	10%	4%	5%	3%	4%	2%	1%	6%	0%	13%	38%
水稲	144	206	22	20	5	36	15	10	8	9	7	2	2	7	0	15	48
		143%	15%	14%	3%	25%	10%	7%	6%	6%	5%	1%	1%	5%	0%	10%	33%
麦・大豆	3	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		133%	0%	0%	0%	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	67%
露地野菜	200	265	24	27	2	42	18	7	9	7	6	1	4	11	0	29	78
		133%	12%	14%	1%	21%	9%	4%	5%	4%	3%	1%	2%	6%	0%	15%	39%
施設野菜	17	28	4	2	1	11	4	0	0	0	1	1	0	2	0	1	6
		165%	24%	12%	6%	65%	24%	0%	0%	0%	6%	6%	0%	12%	0%	6%	61%
果樹	56	93	7	11	5	20	8	2	4	1	4	0	1	10	1	7	12
		166%	13%	20%	9%	36%	14%	4%	7%	2%	7%	0%	2%	18%	2%	13%	21%
畜産	8	10	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		125%	0%	13%	0%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	25%	25%
花き	6	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
		100%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	67%
その他	19	25	0	2	3	2	1	1	1	0	1	0	0	1	0	4	9
		132%	0%	11%	16%	11%	5%	5%	5%	0%	5%	0%	0%	5%	0%	21%	47%
無回答	34	34	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	30
		100%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	88%

②生産面

	n	合計	品 質 ・ 収 量 の 向 上	病 害 虫 へ の 対 応	鳥 獣 被 害 へ の 対 応	規 模 拡 大 ・ 省 力 化 に 向 け た 機 械 の 導 入 ・ 更 新	農 繁 期 の 労 働 力 の 確 保	栽 培 ハ ウ ス の 導 入	新 た な 品 目 ・ 品 種 の 導 入	減 農 薬 へ の 取 組 み	農 業 循 環 型 農 業 ・ 環 境 保 全 型	進 技 術 の 効 率 化 に 向 け た 先 進 技 術 の 情 報 集 集 ・ 研 究	G A P (生 産 工 程 管 理) の 取 組 み	産 指 導 に 基 づ い た 作 物 の 生 産	企 業 等 の 買 い 取 り 計 画 や	そ の 他	無 回 答
全体	487	967	173	126	118	30	60	19	71	59	36	37	10	15	37	176	
		199%	36%	26%	24%	6%	12%	4%	15%	12%	7%	8%	2%	3%	8%	36%	
水稲	144	299	56	41	35	11	23	6	22	18	11	12	3	5	10	46	
		208%	39%	28%	24%	8%	16%	4%	15%	13%	8%	8%	2%	3%	7%	32%	
麦・大豆	3	7	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		233%	67%	67%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	
露地野菜	200	376	65	55	56	10	15	7	25	23	13	11	3	4	17	72	
		188%	33%	28%	28%	5%	8%	4%	13%	12%	7%	6%	2%	2%	9%	36%	
施設野菜	17	44	12	6	4	1	3	4	4	2	2	1	1	1	0	3	
		259%	71%	35%	24%	6%	18%	24%	24%	12%	12%	6%	6%	6%	0%	18%	
果樹	56	147	26	16	15	6	15	2	18	11	6	11	1	4	5	11	
		263%	46%	29%	27%	11%	27%	4%	32%	20%	11%	20%	2%	7%	9%	20%	
畜産	8	16	5	0	0	2	1	0	0	0	2	1	2	0	1	2	
		200%	63%	0%	0%	25%	13%	0%	0%	0%	25%	13%	25%	0%	13%	25%	
花き	6	13	2	3	2	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	2	
		217%	33%	50%	33%	0%	0%	0%	17%	17%	17%	0%	0%	17%	0%	33%	
その他	19	29	3	2	3	0	3	0	1	3	1	1	0	0	2	10	
		153%	16%	11%	16%	0%	16%	0%	5%	16%	5%	5%	0%	0%	11%	53%	
無回答	34	36	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	29	
		106%	6%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	6%	85%	

③経営面・その他

	n	合計	青色申告を行う	経営管理をパソコンで行う	労働環境の見直し	農地集積・規模拡大をはかる	販路の拡大や確保	6次産業化	企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	観光農業	農福連携（障がい者を労働力として登用する等）	自らの経営の法人化	地域等農業者共同による協業化・法人化	その他	無回答
全体	487	687	88	44	29	34	95	36	12	25	14	15	30	33	232
		141%	18%	9%	6%	7%	20%	7%	2%	5%	3%	3%	6%	7%	48%
水稲	144	216	30	16	9	18	30	10	3	7	5	5	12	8	63
		150%	21%	11%	6%	13%	21%	7%	2%	5%	3%	3%	8%	6%	44%
麦・大豆	3	5	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
		167%	67%	0%	0%	0%	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%
露地野菜	200	265	34	14	8	11	34	12	3	8	5	4	11	18	103
		133%	17%	7%	4%	6%	17%	6%	2%	4%	3%	2%	6%	9%	52%
施設野菜	17	32	5	4	3	0	6	4	1	1	0	1	3	0	4
		188%	29%	24%	18%	0%	35%	24%	6%	6%	0%	6%	18%	0%	24%
果樹	56	94	15	8	6	3	21	5	4	7	3	3	2	1	16
		168%	27%	14%	11%	5%	38%	9%	7%	13%	5%	5%	4%	2%	29%
畜産	8	12	0	1	2	1	1	3	0	0	0	1	1	1	1
		150%	0%	13%	25%	13%	13%	38%	0%	0%	0%	13%	13%	13%	13%
花き	6	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	17%	67%
その他	19	23	0	1	1	0	2	1	0	2	1	1	0	2	12
		121%	0%	5%	5%	0%	11%	5%	0%	11%	5%	5%	0%	11%	63%
無回答	34	34	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	28
		100%	6%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	6%	82%

<最も販売額の大きい品目別・クロス集計>

①販売面

	n	合計	農協（共同出荷）	産先等で消費者に直接販売	観光農園（いちご狩り等）	直売所・道の駅で消費者に販売	スーパーの地場野菜コーナーで消費者に販売	小売業者に販売	飲食業者・加工食品業者に販売	農協以外の集出荷団体に販売	卸売市場に出荷・販売	酪農業協同組合	市内の学校給食向けの出荷	インターネット販売	輸出	その他	無回答
全体	320	416	36	41	9	63	24	11	11	10	10	4	4	17	1	38	137
		130%	11%	13%	3%	20%	8%	3%	3%	3%	3%	1%	1%	5%	0%	12%	43%
コメ	92	131	13	9	4	19	10	10	6	6	4	0	2	6	0	12	30
		142%	14%	10%	4%	21%	11%	11%	7%	7%	4%	0%	2%	7%	0%	13%	33%
にんじん	6	10	5	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1
		167%	83%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	17%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	17%
ねぎ	20	25	6	5	0	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	7
		125%	30%	25%	0%	20%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	5%	35%	
だいこん	3	4	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		133%	0%	33%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	33%
ほうれんそう	9	14	1	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	3
		156%	11%	33%	0%	22%	0%	0%	0%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	44%	33%
こまつな	3	5	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		167%	0%	33%	33%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%
梨	25	41	3	7	2	13	3	0	1	0	2	0	0	5	1	1	3
		164%	12%	28%	8%	52%	12%	0%	4%	0%	8%	0%	0%	20%	4%	4%	12%
えだまめ	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		150%	50%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%
トマト	6	8	1	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		133%	17%	17%	0%	50%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	0%
きゅうり	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
酪農	6	8	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1
		133%	0%	17%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	67%	0%	0%	0%	17%	17%
養豚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
花き	4	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		100%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	25%
その他	52	65	0	7	2	10	4	1	3	1	1	0	1	3	0	15	17
		125%	0%	13%	4%	19%	8%	2%	6%	2%	2%	0%	2%	6%	0%	29%	33%
無回答	90	96	6	6	0	5	3	0	0	1	0	0	1	0	3	71	
		107%	7%	7%	0%	6%	3%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	3%	79%	

②生産面

	n	合計	品質・収量の向上	病害虫への対応	鳥獣被害への対応	規模拡大、省力化に向けた機械の導入・更新	農繁期の労働力の確保	栽培ハウスの導入	新たな品目・品種の導入	減農薬への取組み	循環型農業・環境保全型農業	技術の情報収集・研究	GAP（生産工程管理）の取組み	企業等の買い取り計画や指導致した作物の生産	その他	無回答
全体	320	587	103	74	72	16	34	9	38	37	17	21	6	7	23	130
		183%	32%	23%	23%	5%	11%	3%	12%	12%	5%	7%	2%	2%	7%	41%
コメ	92	188	36	23	21	7	13	4	14	11	9	7	2	4	9	28
		204%	39%	25%	23%	8%	14%	4%	15%	12%	10%	8%	2%	4%	10%	30%
にんじん	6	18	4	4	1	0	2	0	2	1	0	2	0	1	0	1
		300%	67%	67%	17%	0%	33%	0%	33%	17%	0%	33%	0%	17%	0%	17%
ねぎ	20	34	8	8	5	2	0	0	2	1	1	1	0	0	0	6
		170%	40%	40%	25%	10%	0%	0%	10%	5%	5%	5%	0%	0%	0%	30%
だいこん	3	8	1	3	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
		267%	33%	100%	67%	0%	0%	0%	0%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ほうれんそう	9	14	1	2	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	2
		156%	11%	22%	33%	0%	0%	0%	11%	0%	0%	0%	11%	0%	44%	22%
こまつな	3	7	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1
		233%	33%	33%	33%	0%	0%	33%	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	33%
梨	25	78	17	9	9	4	10	0	8	9	1	8	0	1	0	2
		312%	68%	36%	36%	16%	40%	0%	32%	36%	4%	32%	0%	4%	0%	8%
えだまめ	2	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		200%	50%	50%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
トマト	6	20	4	4	2	0	2	1	2	2	1	1	1	0	0	0
		333%	67%	67%	33%	0%	33%	17%	33%	33%	17%	17%	17%	0%	0%	0%
きゅうり	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		300%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
酪農	6	14	5	0	0	2	1	0	0	0	2	1	2	0	0	1
		233%	83%	0%	0%	33%	17%	0%	0%	0%	33%	17%	33%	0%	0%	17%
養豚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
花き	4	7	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
		175%	50%	25%	25%	0%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	25%
その他	52	76	13	8	9	0	3	2	3	4	2	1	0	0	9	22
		146%	25%	15%	17%	0%	6%	4%	6%	8%	4%	2%	0%	0%	17%	42%
無回答	90	115	9	9	15	1	3	1	4	6	1	0	0	0	1	65
		128%	10%	10%	17%	1%	3%	1%	4%	7%	1%	0%	0%	0%	1%	72%

③経営面・その他

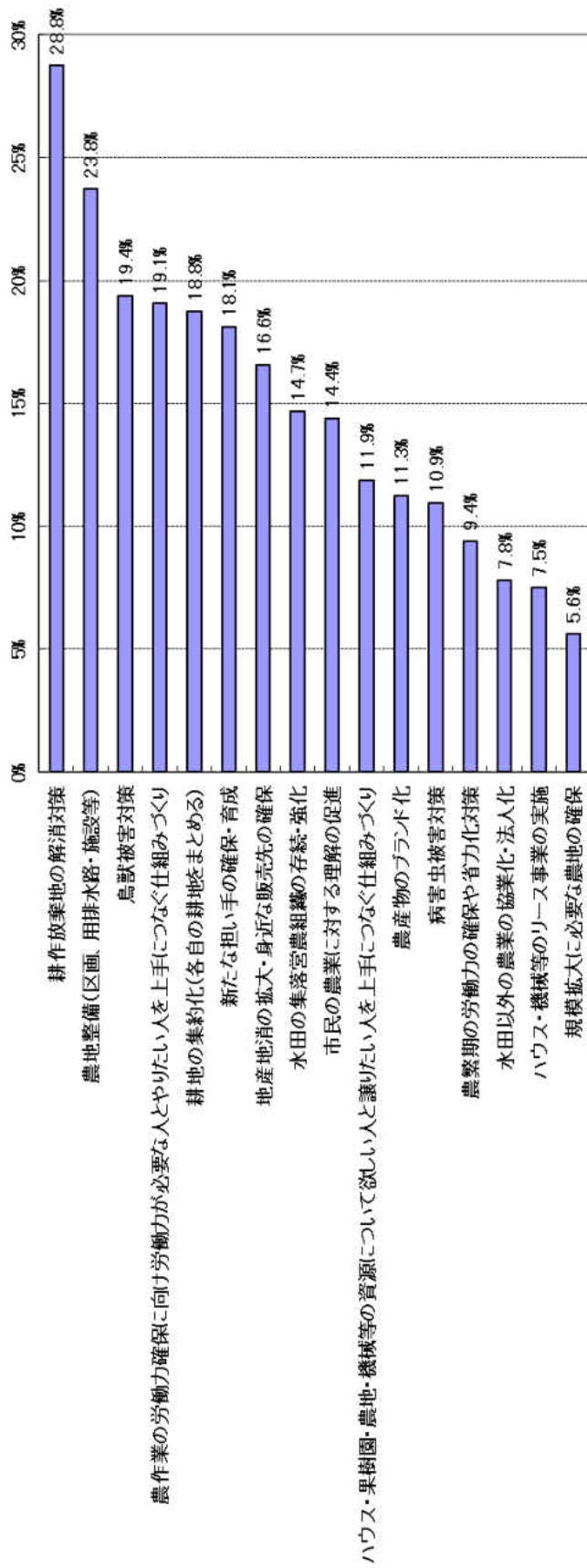
	n	合計	青色申告を行う	経営管理をパソコンで行う	労働環境の見直し	農地集積・規模拡大をはかる	販路の拡大や確保	6次産業化	企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	観光農業	農福連携（障がい者を労働力として登用する等）	自らの経営の法人化	地域等農業者共同による協業化・法人化	その他	無回答
全体	320	420	50	20	18	22	51	17	5	15	7	8	15	23	169
		131%	16%	6%	6%	7%	16%	5%	2%	5%	2%	3%	5%	7%	53%
コメ	92	137	22	9	5	11	17	5	2	6	4	2	8	6	40
		149%	24%	10%	5%	12%	18%	5%	2%	7%	4%	2%	9%	7%	43%
にんじん	6	11	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	2	0	3
		183%	17%	17%	17%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	33%	0%	50%
ねぎ	20	27	4	1	1	2	6	1	0	0	0	0	0	2	10
		135%	20%	5%	5%	10%	30%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	50%
だいこん	3	4	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		133%	33%	33%	0%	0%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ほうれんそう	9	10	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	4	3
		111%	0%	0%	0%	0%	0%	22%	0%	0%	0%	0%	11%	44%	33%
こまつな	3	4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
		133%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	33%
梨	25	45	8	5	5	2	13	2	2	1	0	3	1	0	3
		180%	32%	20%	20%	8%	52%	8%	8%	4%	0%	12%	4%	0%	12%
えだまめ	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%
トマト	6	13	2	2	2	0	3	3	0	0	0	0	1	0	0
		217%	33%	33%	33%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	17%	0%	0%
きゅうり	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
酪農	6	10	0	1	2	1	1	3	0	0	0	1	1	0	0
		167%	0%	17%	33%	17%	17%	50%	0%	0%	0%	17%	17%	0%	0%
養豚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
花き	4	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
		100%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	50%
その他	52	59	3	0	2	1	4	1	0	5	3	1	0	8	31
		113%	6%	0%	4%	2%	8%	2%	0%	10%	6%	2%	0%	15%	60%
無回答	90	92	6	0	0	3	4	0	0	2	0	0	1	3	73
		102%	7%	0%	0%	3%	4%	0%	0%	2%	0%	0%	1%	3%	81%

問 1 6. 今後の八千代市の農業振興に向け重要なこと（複数回答）

「耕作放棄地の解消対策」が 28.8%と最も多く、次いで「農地整備（区画、用排水路・施設等）」が 23.8%、「鳥獣被害対策」が 19.4%と多くみられた。

	回答数	比率
耕作放棄地の解消対策	92	28.8%
農地整備（区画、用排水路・施設等）	76	23.8%
鳥獣被害対策	62	19.4%
農作業の労働力確保に向け労働力が必要な人とやりたい人を上手につなぐ仕組みづくり	61	19.1%
耕地の集約化（各自の耕地をまとめる）	60	18.8%
新たな担い手の確保・育成	58	18.1%
地産地消の拡大・身近な販売先の確保	53	16.6%
水田の集落営農組織の存続・強化	47	14.7%
市民の農業に対する理解の促進	46	14.4%
ハウス・果樹園・農地・機械等の資源について欲しい人と譲りたい人を上手につなぐ仕組みづくり	38	11.9%
農産物のブランド化	36	11.3%
病害虫被害対策	35	10.9%
農繁期の労働力の確保や省力化対策	30	9.4%
水田以外の農業の協業化・法人化	25	7.8%
ハウス・機械等のリース事業の実施	24	7.5%
規模拡大に必要な農地の確保	18	5.6%
無回答	110	34.4%
合計	871	-
n	320	

問16. 今後の八千代市の農業振興に向け、どのようなことが重要と考えますか。(n=320)



問 1 7. 今後の八千代市の農業振興に向けたご意見（記述）

今後の八千代市の農業振興について頂いた意見を種類別に大まかにまとめたところ、下記のとおりとなった。意見一覧はまとめの後に記載。

- ◇ **農地・耕作放棄地、集約化に関するご意見では、耕作放棄地の解消や集約化への支援に関する声がみられた。**
 - ・ 水田、畑地の休耕地対策をもっと急速に推進して欲しい。
 - ・ 小規模水田の維持管理に困っている。行政で買手又は借手の斡旋等を促進してもらいたい。

- ◇ **担い手に関するご意見では、農業従事者が減少するなかで担い手の確保を求める声がみられた。**
 - ・ 営農の次世代を担う人材の確保が、今後の八千代市の水稻経営の問題と考える。畑については現在まで実施されてきた、老人の方々が減少する中で、畑作の減は個々の家族の減収となっている。

- ◇ **営農環境に関するご意見では、周辺環境との調整を求める声がみられた。**
 - ・ 団地周辺での農業は農薬・枯草の焼却の問題が発生している。
 - ・ 農業だけに集中せず、農地とその周りの環境を整備すること自体も大切な要素だと考える。

- ◇ **販売に関するご意見では、ブランド化や販売先の確保を求める声がみられた。**
 - ・ 規模拡大を追い求めても競争力は確保できない。それよりも都市近郊という立地を活かしたブランド化などの付加価値の高い農業を目指していくべき。
 - ・ 農業者の生産意欲を減退させないために生産物の販売環境を整えてあげることが大切なのではないか。

【意見一覧】

➤ 農地・耕作放棄地、集約化に関するご意見

果樹の場合長期的な利用権設定を確立する事、また誰にでも理解できる栽培方法を取り入れる事が規模拡大には必要と考える

現状のままでただ担い手と言っても無理があるのでは。直売は別として世界の農業の土俵で（ちよつとオーバー？）競争するにはまず圃場整備することによって穀物市場のカナダ・アメリカ・オーストラリアなどには無理でも生産コストを下げることによって外国農産物にそれなりに対抗できるし自

<p>ずと農業と工業とした担い手は現れるのではないのでしょうか。又、都市近郊など直売所の設置等は農業収入にすぐに対応できる方、とにかく農業収入の安定が農業振興には必要不可欠だと思います。</p>
<p>耕作放棄地を集落で草刈機を導入して解消したいので何か補助事業がないでしょうか</p>
<p>これまで守って来た農地を市も援助して下さい。大災害の時も公園以外の場所があったらいいと思いますよ。今の状態を続けられる様助けて下さい。剪定の枝の始末とか色々やりやすい様にしてください。葉についても若葉が出る時は深呼吸に来る人々が多いせに葉が落ちる時は目のかたきにしています。できれば子ども達に栗拾いの楽しさを味わわせてあげたいです。売り先はネットでブランド品の様にしたいです。大和田の市街地の農地守って行きたいです。子供達にはまだ相談していませんが生きていくかぎり農地を守りたいです。</p>
<p>小規模水田の維持管理に困っている。行政で買手又は借手の斡旋等を促進してもらいたい</p>
<p>水田、畑地の休耕地対策をもっと急速に推進して欲しい</p>
<p>では実際にどうしたらいいのか身近で耕作放棄地がある。放棄される前にベストをつくしたか？離農する人に充分話を聞いたか、農家の後継者がいないのは初めからわかっている、それでも…早めの対策が必要で役所や農協のほう助が必要だと思います。</p>

➤ 担い手に関するご意見

<p>営農組合化</p>
<p>水稻を実施するにあたり、営農の次世代を担う人材の確保が、今後の八千代市の水稻経営の問題と考える。畑については現在まで実施されてきた、老人の方々が減少する中で、畑作の減は個々の家族の減収となっている。農家で生計営むのは厳しい現実がある(グリーン、ふるさとステーションは農家にとっては大切な販売場所です)。</p>
<p>どこの営農組合も後継者ができず、10年後にはせっかくの水田が草だらけになってしまう</p>

➤ 営農環境に関するご意見

<p>団地周辺での農業は農薬・枯草の焼却の問題が発生しています。消防署に始末書を書きながらの作業も考えものです。</p>
<p>農業振興計画には農業の現状を取り巻く環境等と地域住民との共有が必要であり畜産経営管理計画に期待する</p>
<p>農業だけに集中せずに、農地とその周りの環境を整備すること自体も大切な要素だと考えます。</p>

➤ 販売に関するご意見

<p>規模拡大を追い求めても競争力は確保できません。それよりも都市近郊という立地を活かしたブランド化などの付加価値の高い農業を目指していくべきです。</p>
<p>耕作しても出荷するところがない</p>

市役所駐車場で朝市をして八千代市内の特産品開発等と農業生産品を毎月見てもらふ福祉施設の人とか商業者とか一緒にどうあるべきか考える場を表だつた人ではなく集めるには地域各々に足を運ばないと見つからないのです。
これ以上耕作放棄地を増やさないためにも零細的な農業者について（生産意欲のある人）も助成措置を考えてほしい。専業農家・法人組織だけでは全ての耕地を利用することは難しいと考えられます。農業者の生産意欲を減退させないために生産物の販売環境を整えてあげることが大切なのではないのでしょうか。

➤ その他のご意見

現在の状況を把握し、進んではいけない方向に先んじて手を打つのは農家個々のまとまりではなかなか困難であるので行政に施策として取り組んでほしい。またそれは急がなければならない時期にとっくなっていると思います。
さきのことわからない
水利費、防除費用の値下げ。営農者（米）収入に対する価格が高過ぎる。変な補助金よりもこれらの補助に当てるべき
田畑があっても自分では何もできません。助けてください。
田畑だけでなく山林（竹材）から得られる農を考えてはどうでしょうか。また現在一部しか商品とされていない規格外農産物に光をあてる仕組みができたらと思います。
農家の若い人達にガンバッテお金の取れる農業をやってもらいたい
農業には定年が無く、出来る範囲で協働でも行えば収入を得られるという例があれば広めて欲しい
農協のやる気が無いのが問題
普及所と担い手とよく理解しあえたら
箕面市農業公社のように市の職員が中心になって地域の農業・農地を守り活かす方法を農政課として取り組んでほしい。他にも農業公社はあります。積極的な提案をしてほしい。都市農業振興基本法を活かす計画も提案してほしい。
ビヤクシン類への対応を強化してほしい。八千代市のまわりの市に対しても連携できるとありがたいです。
特にありません … 5件

問 18. その他ご意見（記述）

自由意見欄に記述された意見について、意見の種類別に大まかにまとめたところ、下記のとおりとなった。意見一覧はまとめの後に記載。

- ◇ **農地・耕作放棄地、集約化に関するご意見では、ほ場整備や耕作放棄地への対応、農地中間管理機構の有効活用等を求める声のみられた。**
 - ・ 専業農家(法人) で生計を立てる方々へは、圃場整備を図り、農地の拡大化(賃貸借含む) をし、農業の生産性を高め、農業者の気力向上と後継者の農業への取組み意欲が出るような施策が必要と思う。
 - ・ 耕作放棄の田んぼ多いのでなんとかしてほしい。
 - ・ 中間管理機構利用促進など各種施策が有るが末端農家への周知、案内等が少ないと感じられる。

- ◇ **担い手に関するご意見では、援農ボランティアの活用促進や農業従事者の高齢化への対応等を求める声のみられた。**
 - ・ 農業の後継者育成をどうするかが問題です。現在のボランティア制度で何とか農家も助かっていますがボランティアも高齢化、ボランティアもどうでしょうか、魅力がないのか集まらないことを聞きます。やはり魅力ある農業の在り方をどうするか知恵を出し合って考えていくことが大切だと思います。
 - ・ 高齢化や後継者がいないため離農を余技なくされている現状（私も含めて）を近隣でも見かける。

- ◇ **農産物の生産に関するご意見では、高齢化により農作業の負担感が増している現状や農機保持への支援、情報交換の場の確保等を求める声のみられた。**
 - ・ 高齢化により年々農業継続は出来なくなる。
 - ・ 小規模農家への農業機器リース（農協等の運営による）事業
 - ・ 年 4 回程度勉強会を兼ね情報交換会を開催し相互のコミュニケーションを取っていただきたい。

- ◇ **営農環境に関するご意見では、宅地化による営農環境の悪化や気候変動、災害等に関する声のみられた。**
 - ・ 農地の近くに団地がありトラクターで畑をうなう時でも風向など注意しなくてはいけないなど農業がやりにくくなっていると思う。
 - ・ ここ数年温暖化による自然災害により想像のつかない事が何度も（災害）農家を苦しめています。

◇ **販売・PR に関するご意見では、八千代市産農産物の PR を求める声や農産物の価格安等に関する声がみられた。**

- ・ 八千代の地場野菜（各種季節ごと）をもっと八千代市民にアピールをしていき八千代の野菜をもっと知ってもらいたい。
- ・ 生産物の価格が安価すぎる。

【意見一覧】

➤ 農地・耕作放棄地、集約化に関するご意見

八千代市は都心に近く、都市化が進んだ近隣農地は農業の生産性より他利用価値が高くなりつつある。※開発が進んだ近隣農地では農業機械使用、農薬散布、雑草等焼却で農業継続が難しく農業への気力が減退する状況がある。専業農家(法人) で生計を立てる方々へは、圃場整備を図り、農地の拡大化(賃貸借含む) をし、農業の生産性を高め、農業者の気力向上と後継者の農業への取組み意欲が出るような施策が必要と思う。※利用度の高い用地として整備する。
農地の売買の緩和
農地中間管理機構がきちんと機能していない田を貸したかったが”借りられない”とのことで耕作放棄地になっている。
生産保持の土地を売りたいけど、話し合いの場を作ってもらいたい。
この機に一筆申し上げます。そもそも麦丸地区の水田が荒れ放題になったのは高齢化もさること乍ら約 40 年位前に一部の方の反対で基盤整備が出来なかった事で、出来ておれば麦丸の田も尾崎地区の様に大型機械が入れる様な良い水田になっていたと思います。ところで近年では荒れた水田の野焼きを年に 1 度（3 月頃）行っていますが焼くだけで焼け跡の大量の（ありとあらゆる）ゴミはそのままで燃やすだけでこの作業に 100 万円もかけて何の解決に成ると思いません。税金の無駄使いだと思います。もう一度水田にも畑にも使用出来る様、もう一度基盤整備を半強制的にも（やり方を色々研究）して若者が働ける様にする事と思います。農政課の指導に期待いたします。乱文乱筆をお許しを。
高齢者が休耕圃場を除草しているのを見るとどうあることが期待されているか。それに向けた支援等の資源を示していくことが求められます。
耕作放棄の田んぼ多いのでなんとかしてほしい。
桑納区の水田、畑共に放置された農地はますますふえて行くと思われれます。後 5～10 年でどうにもならないとなる気がします
現在平戸では盛土事業を行っており、今年の 7 月末日中に事業が終了となりますが最後に大きな問題があり、それは工事の中間に 9 号線の吊上に伴う大多喜ガスの中圧管が埋設されておりこの管を移設するには 6000 万という高額な費用負担がかかるため移設費用はだせないことから

中圧管はそのまま盛土して対応を図っているが、農政課、土木管理課の調整がつかずこまっております。土木管理課で大多喜ガス管関係は行っているとのことですが平戸区としては中圧管は迷惑施設でなんのメリット也没有せん。土木管理課では専有料を取っています。もう少し土木管理職員も大多喜ガスさんに協力出来る範囲で協力してくれないか一言してもらいたい現在は一斉盛土組合でやってくれといわれています。尚 9 号線は凹凸がひどく台風やゲリラ豪雨で冠水する市道ですので土木管理課に提出してある計画案に決定してもらい工事を終了したいと考えていますので工事は令和 2 年 7 月末日でありますので 9 号線は吊上げは平戸区の要望として 5~6 年前から要望している事項でありますのでご配慮をよろしくお願いします。

1. 農業関係機関（国、県、市町村、JA、共済、改良区他）は多く存在しているが有機的な連携があまり感じられない。又、組織、職員、役員のための団体ではなく農家と農業の振興、食料供給などの本来の目的に沿った組織運営を常に心掛けて欲しい。2. 中間管理機構利用促進など各種施策が有るが末端農家への周知、案内等が少ないと感じられる。積極的な農政活動を期待します。関係者のご努力に感謝します。又期待しています。

➤ 担い手に関するご意見

私は 40 余年前不動産（赤尾）から 200 坪を 4 人で買いその一画を家庭菜園程度のつもりで現在野菜作りをしています。（50 坪）当時は仕事で働くこともままならず放置しておりました。そうしたらゴミ捨て場となってしまうトラックを頼んで整理しました。以来できるだけ畑に通うようになりました。今では退職の身で畑仕事を楽みの一つにしています。ただ困ったことがあります。それは周りが住宅化してきたことと 2 区画は荒地と化していることです。いずれにしても私自身はまだ 73 歳で働くことができます。荒地の一区画を何とかして欲しいです。八千代市では援農制度でボランティアの方々が農家へ手伝いにいっています。私もその一人です。実態はどうなのでしょう（八千代市全体）何にでも高齢化時代と言われています。殊、農業においては後継者もなく田舎の方のみならず日本の農業には不安がいっぱいです。やはり今言われていますがその土地ならではの作りブランドというのかな、他県、市には負けないものを作ることが大事です。農業の後継者育成をどうするかが問題です。現在のボランティア制度で何とか農家も助かっていますがボランティアも高齢化、ボランティアもどうでしょうか、魅力がないのか集まらないことを聞きます。やはり魅力ある農業の在り方をどうするか知恵を出し合って考えていくことが大切だと思います。私自身も少しでも農家の手伝いをし、勉強もしたいと考えて実行しています。九期生として退職後続けています。若い人たちに家庭菜園の魅力というか休耕地を貸して実践させることを当局で考えることも必要かと思えます。広報紙等を使用し宣伝、アプローチを考えて欲しい。一、援農ボランティアの募集アピール 一、荒地（休耕地）解消対策どうするか 一、八千代市のブランド（ニンジン）の拡大をどうするか 一、若手農業者の育成をどうするか など課題がいっぱいあります。少しでも解決できるように願います。

多種多様な経営体が合っていると良いと思います。

高齢化や後継者がいないため離農を余技なくされている現状（私も含めて）を近隣でも見かける。後継者不足は少子化とも関連が有ると考えられる。農業振興を考える時、少子化も合わせて複合的に考えて行くのはどうだろうか。

➤ 農産物の生産に関するご意見

私は来年古希を向かえるものですが生来持病の腰痛があり長時間作業が大変キツイです。いつも農業関係業務して頂いている農政課の皆様や農協の方々にお世話になり大変感謝致しております。今後共宜しく願い申し上げます。

農協で田畑をうなってくれる人がいたらたすかる。農協で出荷物をとりにきてくれる人がいたらいいと思います。

農機に助成（特にトラクター）個人に（人参の掘取機？）2名位に

土地（畑）利用型の農業への応援もお願い致します。（大根、人参、ネギ、その他）

小規模農家への農業機器リース（農協等の運営による）事業。

高齢化により年々農業継続は出来なくなる

去年から国連では小規模・家族農業 10年として位置づけています。「持続可能な開発のための」[だれひとり取り残されない]を基本理念として始まっているSDGSの取り組みのためには20年30年後を考えたら食料自給率37%の日本を70%以上にするためにも農業政策を根本から見つめ直して八千代市から変わってほしい。

年4回程度勉強会を兼ね情報交換会を開催し相互のコミュニケーションを取っていただきたい。

➤ 営農環境に関するご意見

農地の周りが住宅地で日陰のため作物がよく育たない。病虫害等は住宅にかこまれて、いっさい農薬は使わない。

農地の近くに団地がありトラクターで畑をうなう時でも風向など注意しなくてはいけないなど農業がやりにくくなっていると思う。野菜の木などをもやしていると警察や消防に通報されることもありたいへんです。

農地が車入れない所にある 竹が野ばなしで作りにくい 野うさぎの被害が大きい

農振地域でありながら農業がやりづらくなっているのはおかしい。消毒の苦情、枝も燃やせなくなってきた。対策をするにはお金がかかってしまい経費がかかりすぎ、生活していけなくなる。

雑草の後始末が課題です。住宅が多くなって自由に畑に入れるので作物を摘む人が多くなっています

ここ数年温暖化による自然災害により想像のつかない事が何度も（災害）農家を苦しめています。それに消費税により資材のコストはあがるが野菜の値上がりはなく農家の未来はあるのでしょうか？とても不安です。農業の後継者が居なくなるのは当然だと思います。野菜の収入でトラクターを購入する事も出来ません。今のトラクターが使えなくなったらもう農業は出来ません。麦丸の水

田があります。佐倉のチューリップ畑の様な施設を作ってみるのも良いのでは？例えばひまわり畑とか…観光農園など若者が働ける場所
高齢化が進む現状だと思いますが都市化も進んでいくと感じますので現状を継続する事ができればと思いますが？
農地を取り巻く環境を整備すること自体を一体として資源ととらえ、地域の活性化、収益にもつながるような取り組みが必要だと思います。行政も実行にあたり、協力してもらうのがよいと考えます。また地域でなくなってしまった、祭りなどを復活させるのも意義があるのではないかと考えます。
アンケート集計結果で何が解るのか自分には理解できない。結局資金力のある人々や大規模経営をしてる人々には個人でやっている人間はとて太刀打ちできず、ましてや 60 代になってから上を向いて借金してまでやろうとは思わない。欲はふくらみ続ければいつかは破れるか、しぼむ。今はそこそこの収入安定さえ出来ればいい。最近の異常気象で気持ちがなえる。結局中央の市場価格に左右される現状では労多くして益少して肥え太るのは農協さん位か？全国規模で価格の安定化を図ってほしい

➤ 販売・PR に関するご意見

八千代の地場野菜（各種季節ごと）をもっと八千代市民にアピールをしていき八千代の野菜をもっと知ってほしい
道の駅とか JA の販売に参加条件に合わない人でも、やれる、売ってみてと言える場所の提供をしてあげる。車を使えない人もいる。大規模でなくてよいといえる様にしてほしい
農業をやらせたくない、つがせたくないと思える産業になっている以上、後継者がいなくなるのは自然な事だと思う。最低年金しかもらえず自然災害も毎年のおきてせつかつくった農産物が被害にあいやすくとえ被害がなくてもデフレ構造（30 年近い）の中、米・野菜の価格が安価安定してしまっている。汗をかいてがんばっている人達がうかばれる産業にしてほしい
生産物の価格が安価すぎる。だから生活格差が生まれ、次第に農業から離れていく。サラリーマンの方が安定して生涯おくれる。こう考える農家の人が多いのでは？一家 5 人で働いても、サラリーマン 1 人の給料に追いついていない。
これからも農政課の方と JA さんと農家の方と八千代市の農業の未来を考えていけたらよいと思います。農業は難しいです。野菜作りを向上できる情報がありましたら、知りたいです。八千代市内でブログ等やっている方がありましたら、うれしいです。（野菜作りを教えていただきたい）八千代市の野菜の PR（八千代の野菜の特色をいかしブランド化）
今の農業は機械とくすりで作る野菜、たべたくないなと思います。スーパー A の地場野菜はおいしく「夕方」になると野菜がなくなっています。スーパー B の地場野菜はのこっています。私も食べましたがさつまいもの味がおいしくなかった。作れば良いと言う時代ではありません

➤ その他のご意見

私は他の仕事に従事しており、わずかに所有する田畑を他人にお願いして耕作してもらっているのが現状です。したがってこのアンケートに該当する資格はないように認識しておりますが、悪しからずお許し願いたいと存じます。
我が家も数年前までは両親任せで農業という仕事はほぼせず、会社勤務できています。また後世の子供達も同じ道をたどっております。これから先、農地はあるものの現状維持は難しい。
農地が小規模なのでアンケートに答えることがありません。
農業には興味もないし耕作もしていない 定期的に草刈りして体力的に負担、生産性もないのに管理と資産税ばかりで生活に大変負担。
ダメ農協、予算無し 市役所 農業をマジに考える人と話したい
水田で黒豆のオーナー制度のもぎとりをやっています。以前（10年前位）は種子代の補助がありました。今はありません。以前の様にはなりません。年々農業に対しての（財政の不足はわかりますが）予算が減ってきています。いくら農業振興といってもお金をかけなければ先へは進まないと思います。
将来的には個人の農業経営は成り立たず消滅の危機を迎えかねません。農協などの法人が農地を管理したり農業生産を行うことで地域の農業をささえてほしいと思います。
時代の変化、環境の変化（気候、生産、需給等）に適切に対応した計画となるよう期待します
子供には農業以外の職業をさせる
高齢化、資金や技術、労力不足、離農者、…ない。とか困難とか放棄とか暗い話が多い。もっとよい例があると思うので明るい話を聞いて参考に出来たら良い。実際にこの様にして地域が良くなっている所がここにありと役所なり農協がリーダーシップを取ってやってもらいたい
耕作地は自宅わきのみ。自給のための(家族で食べる分のみ)栽培で、販売は一切していないので、アンケートに充分お答えすることが難しい状況です。とりあえず、わかる範囲でお送りします。
既存のルールや習慣に捉われない農業政策が必要です。都市住民を巻き込んだ取組みが重要です。
老いる事も考えず一生懸命生きて来た団塊世代です。明るい前向きな情報をお願いします。
偉業のため
アンケートを取るだけでなく市がこれなら手助け出来ると思った事は検討するではなく実行してください。何か1つ取り入れてくれればやる気が出ると思うが？
特になし …4件

◇ 今後農業の担い手が消失し、耕作放棄地の増加が深刻化すると予想される地区

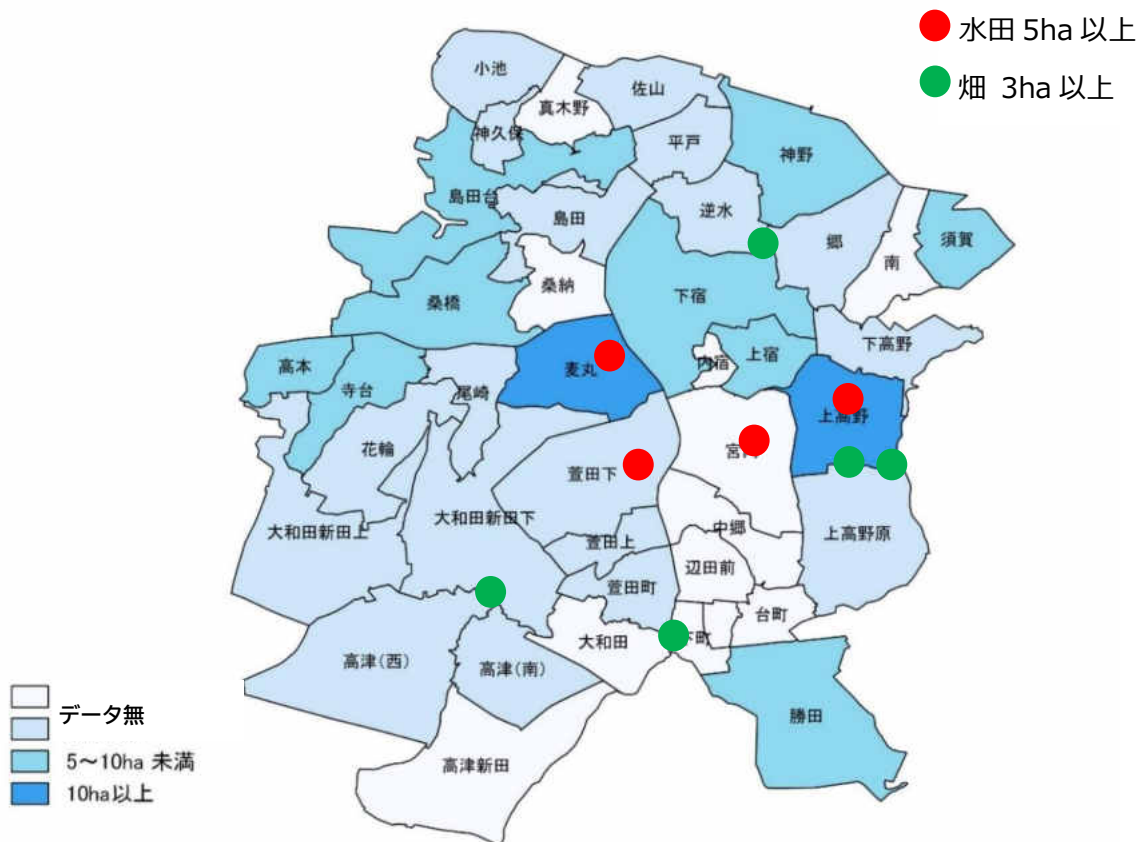
5年後・10年後の将来に大規模な担い手が消失し、耕作放棄地の増加が予想される地区を、現状の耕作面積や年齢、後継者の有無、今後の意向から整理した。

- 一定規模の耕作面積を有しながらも、70代以上で後継者がおらず、今後の意向（5年後・10年後）でも「離農・引退」もしくは「わからない」と回答した農業者リスト

	耕作面積	年齢	耕作地区		今後の意向	
					5年後	10年後
1	水田 5ha 以上かつ畑 3ha 以上	80 歳以上	上高野		離農・引退	離農・引退
2	水田 5ha 以上	70 歳代	麦丸		分からない	分からない
3		70 歳代	萱田下		分からない	分からない
4		70 歳代	宮内		分からない	分からない
6	畑 3ha 以上	80 歳以上	逆水	大和田新田下	離農・引退	離農・引退
7		80 歳以上	上高野		分からない	分からない
8		70 歳代	萱田町		離農・引退	不明

※耕作地区は複数回答のため、耕作面積は複数地区の合計となっている場合がある。

- 耕作面積が一定規模以上であり後継者のいない回答者の耕作地区



◇ 規模拡大を希望する回答者の概要

規模拡大の意向を持つ回答者について、現状の問題や今後の取組み意向を整理した。

➤ 規模拡大希望者リスト（問 1 3 における規模拡大希望者）

	今後の意向		最も販売額のある品目	耕作地区				年齢	認定の有無	
	5年後	10年後		緑色：農村ゾーン、 青色：市街地ゾーン	オレンジ色：混在ゾーン					
1	拡大	拡大	酪農	尾崎	麦丸			30代	○	
2	拡大	拡大	オクラ	逆水	内宿			40代	無回答	
3	拡大	拡大	コメ	小池				50代	×	
4	拡大	拡大	にんじん	桑橋				50代	○	
5	拡大	拡大	梨	下宿				60代	○	
6	拡大	拡大	コメ	尾崎				60代	×	
7	拡大	維持	ミニトマト	麦丸				50代	×	
8	拡大	維持	そば	桑納	高津(西)			60代	○	
9	拡大	維持	梨	宮内				60代	○	
10	拡大	不明	コメ	保品郷				70代	○	
11	拡大	不明	酪農	尾崎	麦丸	高津新田		50代	○	
12	維持	拡大	コメ	佐山				50代	×	
13	維持	拡大	酪農	小池	神久保	佐山	島田台	花輪	60代	○
14				尾崎	高本	麦丸	逆水			
15	不明	拡大	コメ	神久保	島田台	島田	桑納	50代	×	

➤ 問 1 2 現状の農業経営における問題

自然環境への変化が最も多く、次いで農地の分散・点在、農地の条件が悪い、が多い。

	回答数	nに対する比率
温暖化、台風増加等自然環境の変化	10	67%
農地の分散・点在	6	40%
農地の条件が悪い(狭小、用水、排水)	6	40%
労働力の不足	5	33%
規模拡大に適した農地が見つからない	5	33%
機械・設備の老朽化	5	33%
鳥獣による農産物の被害	3	20%
病害虫による農産物の被害	2	13%
都市化で農作業をしにくい	2	13%
後継者がいない	2	13%
販売先(顧客)の固定化・減少	1	7%
その他	0	0%
合計	47	313%
n	15	100%

➤ 問15 今後の取組み意向

①販売面

直売所・道の駅販売が最も多く、次いでインターネット販売、農協出荷が多い。

	回答数	nに対する比率
直売所・道の駅で消費者に販売	6	40%
インターネット販売	5	33%
農協(共同出荷)	4	27%
庭先等で消費者に直接販売	4	27%
スーパーの地場野菜コーナーで消費者に販売	4	27%
農協以外の集出荷団体に販売	4	27%
飲食業者・加工食品業者に販売	3	20%
小売業者に販売	2	13%
酪農業協同組合	2	13%
観光農園(いちご狩り等)	1	7%
卸売市場に出荷・販売	1	7%
市内の学校給食向けの出荷	1	7%
その他	1	7%
輸出	0	0%
合計	38	253%
n	15	100%

②生産面

ほぼ全員が品質・収量の向上と回答した。

	回答数	nに対する比率
品質・収量の向上	13	87%
作業の効率化に向けた先進技術の情報収集・研究	7	47%
規模拡大、省力化に向けた機械の導入・更新	6	40%
循環型農業・環境保全型農業	6	40%
新たな品目・品種の導入	5	33%
GAP(生産工程管理)の取組み	4	27%
病害虫への対応	3	20%
鳥獣被害への対応	3	20%
農繁期の労働力の確保	3	20%
栽培ハウスの導入	3	20%
減農薬への取組み	2	13%
企業等の買い取り計画や指導に基づいた作物の生産	1	7%
その他	1	7%
合計	57	380%
n	15	100%

③経営面・その他

農地集積・規模拡大や6次産業化が多くみられる。

	回答数	nに対する比率
農地集積・規模拡大をはかる	6	40%
6次産業化	6	40%
経営管理をパソコンで行う	4	27%
労働環境の見直し	4	27%
販路の拡大や確保	4	27%
地域等農業者共同による協業化・法人化	4	27%
青色申告を行う	3	20%
自らの経営の法人化	3	20%
観光農業	2	13%
農福連携(障がい者を労働力として登用する等)	2	13%
企業等と連携・共同した加工品の開発や営農	1	7%
その他	0	0%
合計	39	260%
n	15	100%

調査結果の総括

1. 産直に加えて J A 共同販売が重要な販路である

都市近郊地域では、多くの農業者にとって産直が最大の販路となっている地域が多いが、八千代市では、産直と合わせ農協共販が主な販路となっている。今後の販路としては、産直を志向する農業者は最も多い。品目では、施設野菜、果樹、コメで産直を志向する意見が強い。コメは大規模経営体も産直を志向している。

J A 共同販売は 2 番目に出荷を希望する農業者が多く、特に、認定農業者、専業農家にとって、品目ではにんじん、ねぎにおいて重要な販路となっている。

法人経営体においては、J A 以外の集出荷団体への販路開拓を目指す状況もある。

2. 特に労働力が不足する作業工程への対応策を進める必要がある

果樹では、収穫、剪定作業が不足している。にんじんでは、箱詰め、ほ場からの運搬、洗浄の工程が不足している。ねぎでは選別・箱詰めが不足している。稲では田植え時の補助が不足している。その他の野菜では、袋詰め等の商品化作業、収穫、荷造りが不足している。

これらの作業工程について、共選化、機械化、労働力の育成等、いずれかの対応を選択し、進めることが有効と考えられる。

3. 中間管理事業の導入に向けた検討の必要がある

中間管理事業については、検討するとの回答が 22 件、中間管理機構に貸したいとの回答が 21 件、合計して 43 名の農業者から、中間管理機構に貸す可能性が示された。地区別では、島田 5 名、麦丸 4 名、萱田町 4 名、桑納 3 名、寺台 3 名、上高野 3 名、下高野 3 名等から上がっている。このうち、麦丸、桑納、島田には規模拡大希望者があるが、ほかの地区には規模拡大希望者がいない。これらの地区を中心に、固定資産税の軽減等の中間管理事業のメリットを普及するとともに、農地の借り手の確保に取り組み、農地中間管理事業の導入を進める必要がある。併せて、基盤未整備の農地は、中間管理機構による基盤整備の検討を進める必要がある。

4. 法人化を検討する農業者が存在

認定農業者を中心に 8 名の農業者が法人化を検討している。また、地域共同の法人化を検討すべきとの意見は佐山、神野等の地区で計 15 件あった。後継者不在による農業経営の消失を防ぐため、法人化の検討が必要と考えられる。

5. 収益の安定・向上に向けた栽培上の課題への対応を進める必要がある

品質・収量の向上対策の必要性が専業農家や法人経営体、認定農業者、面積規模の大きい経営体といった中手的な担い手で課題としてあがっている。自然環境の変化、病害虫、鳥獣被害への対応も課題となっている。今後、品目や地域等により、収益の安定・向上に向けた検討・研究課題を設定し、研究・検討を支援することで、収益の安定・向上に結び付ける必要がある。

特に酪農では、10年後においても離農を明言する経営体はなく、3件の経営体が6次産業化を志向している。今後経営体間のコミュニケーションを密にし、共同して6次産業化に取り組み経営を拡大する等、都市近郊の立地を踏まえ酪農業が継続発展する方策を検討する必要がある。

6. 将来的に担い手が消失し農地の荒廃が予想される地域がある

一定規模の耕作面積を有しながら後継者のいない回答者が8名存在している。こうした回答者が耕作する地区を整理した結果、水田・畑の両方で上高野がみられ、その他水田では宮内、萱田下、麦丸、畑では逆水、萱田町、大和田新田下となった。こうした地域で将来的に担い手が消失し耕作放棄地が増加する可能性がある。

7. 規模拡大を希望する農家への支援は急務である

今後の農業経営の展望について、10年後は「離農・引退」を考えている農業者が20.3%、「分からない」と考えている農業者が37.5%いる現状を鑑みると、担い手の不足は避けられない課題の一つである。このような中で規模拡大を希望する農家の存在は貴重で、地域の営農を支える力になると思われることから、早急に支援を行うことにより、早期に成果が得られると考えられる。

8. 農業に関し意見や要望を持つ農業者が多い

本アンケート調査において、記載式で意見を記載する問を設けたところ、農地や担い手、営農環境、販売等様々な意見が寄せられた。これらの意見は現在の農業に何が必要なのか、示唆に富んでいると考えられることから、頂いた意見について施策を考慮する際に活かしていく必要がある。